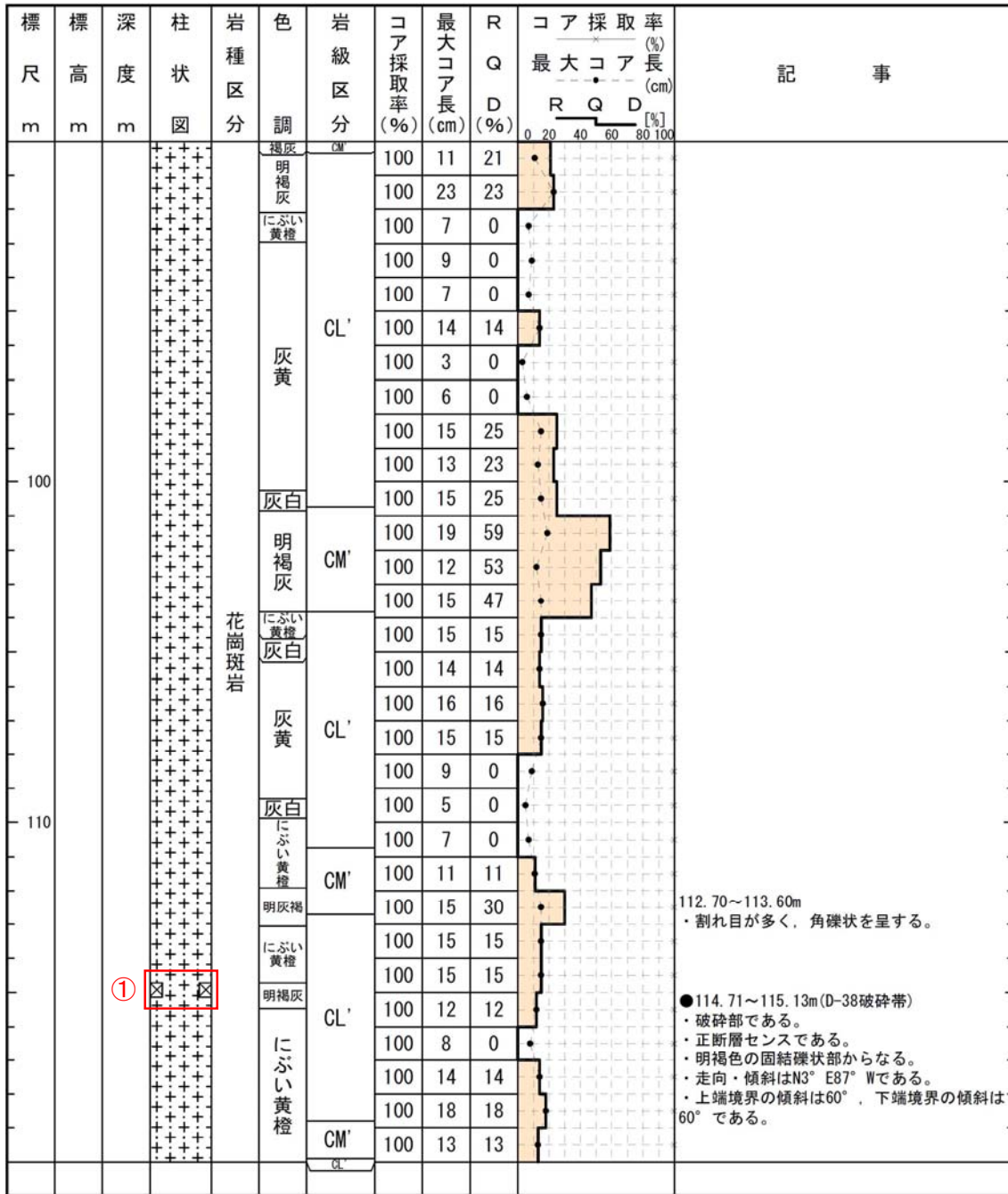
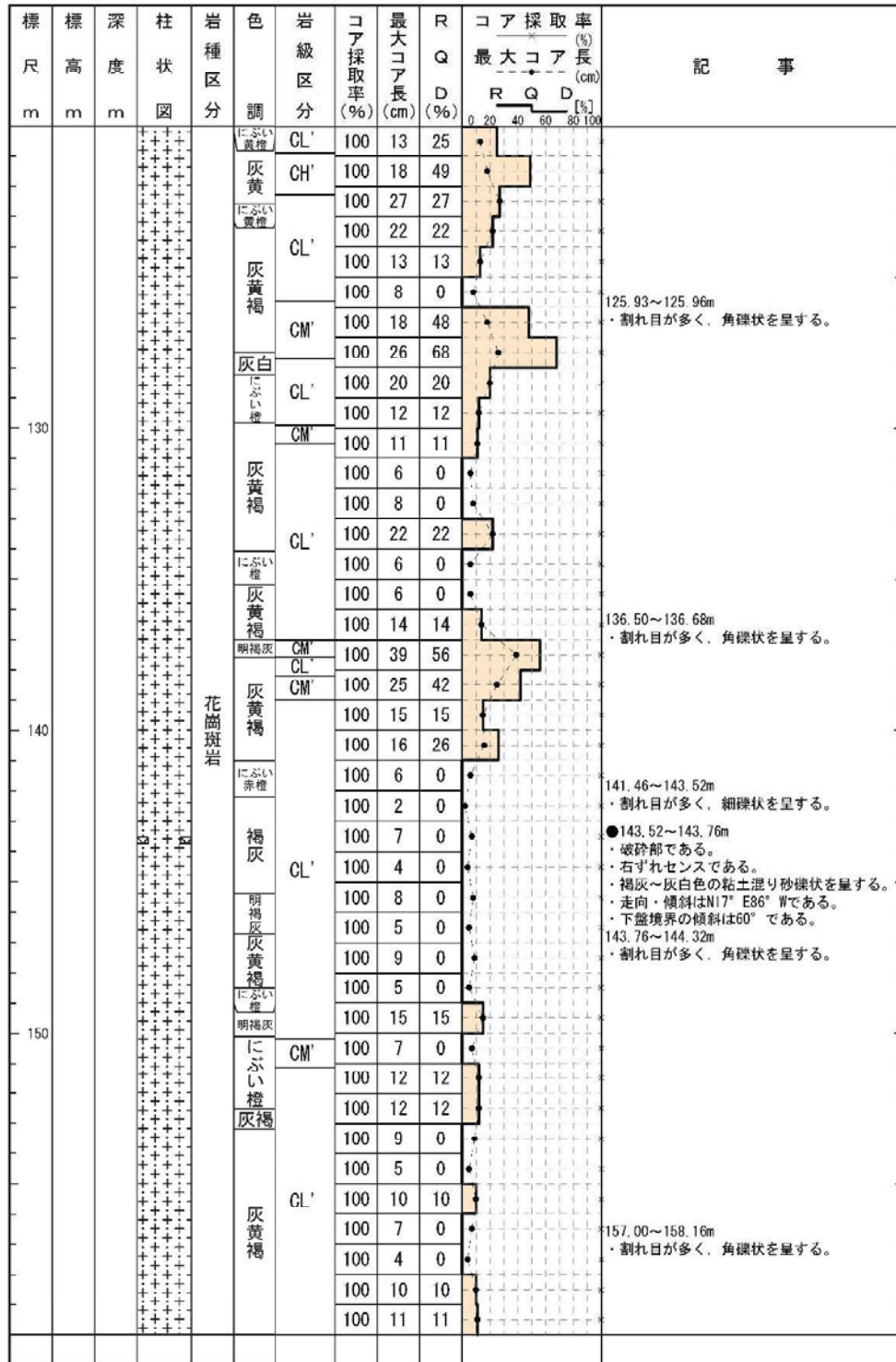


柱状図(90.00m~120.00m)



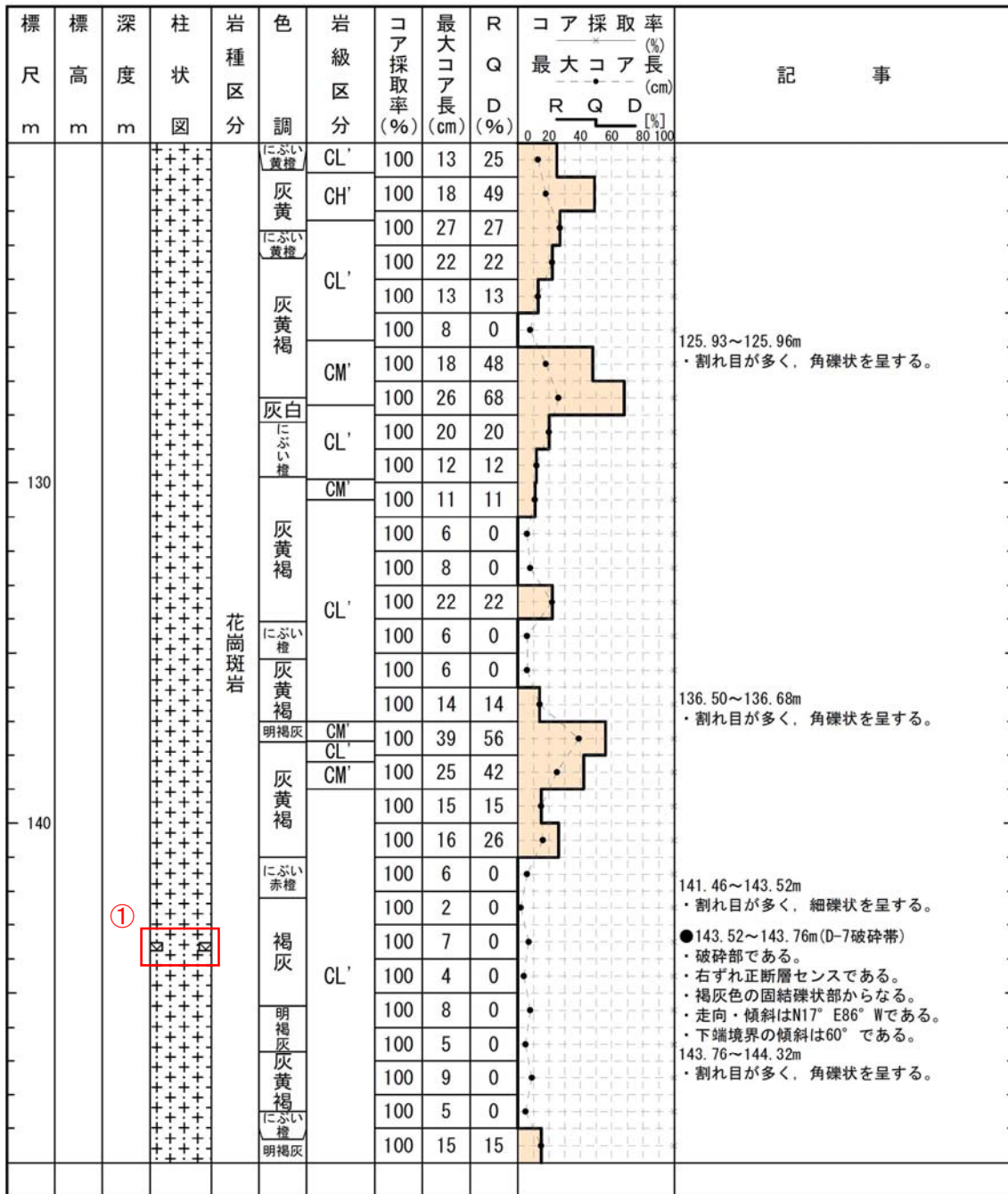
3-131(分類d)①
記事欄の記載変更に伴う変更。(破碎部模様の変更)



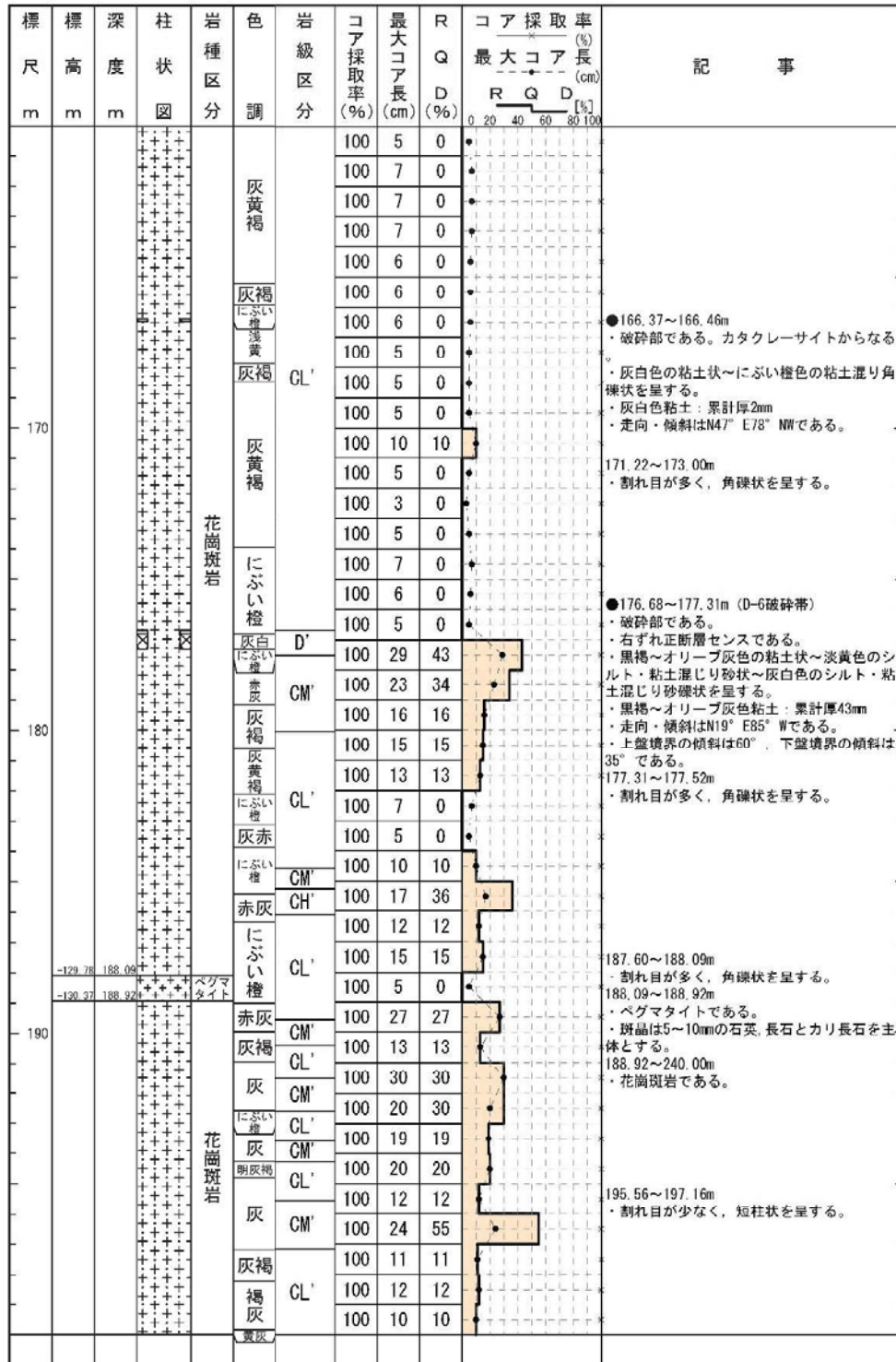
6-7-4-1082

第7.4.4.184図(4) D-6 破砕帯 ボーリング調査結果 (1号炉原子炉建屋北方) コア柱状図(H24-No. B8-22)

柱状図(120.00m～150.00m)



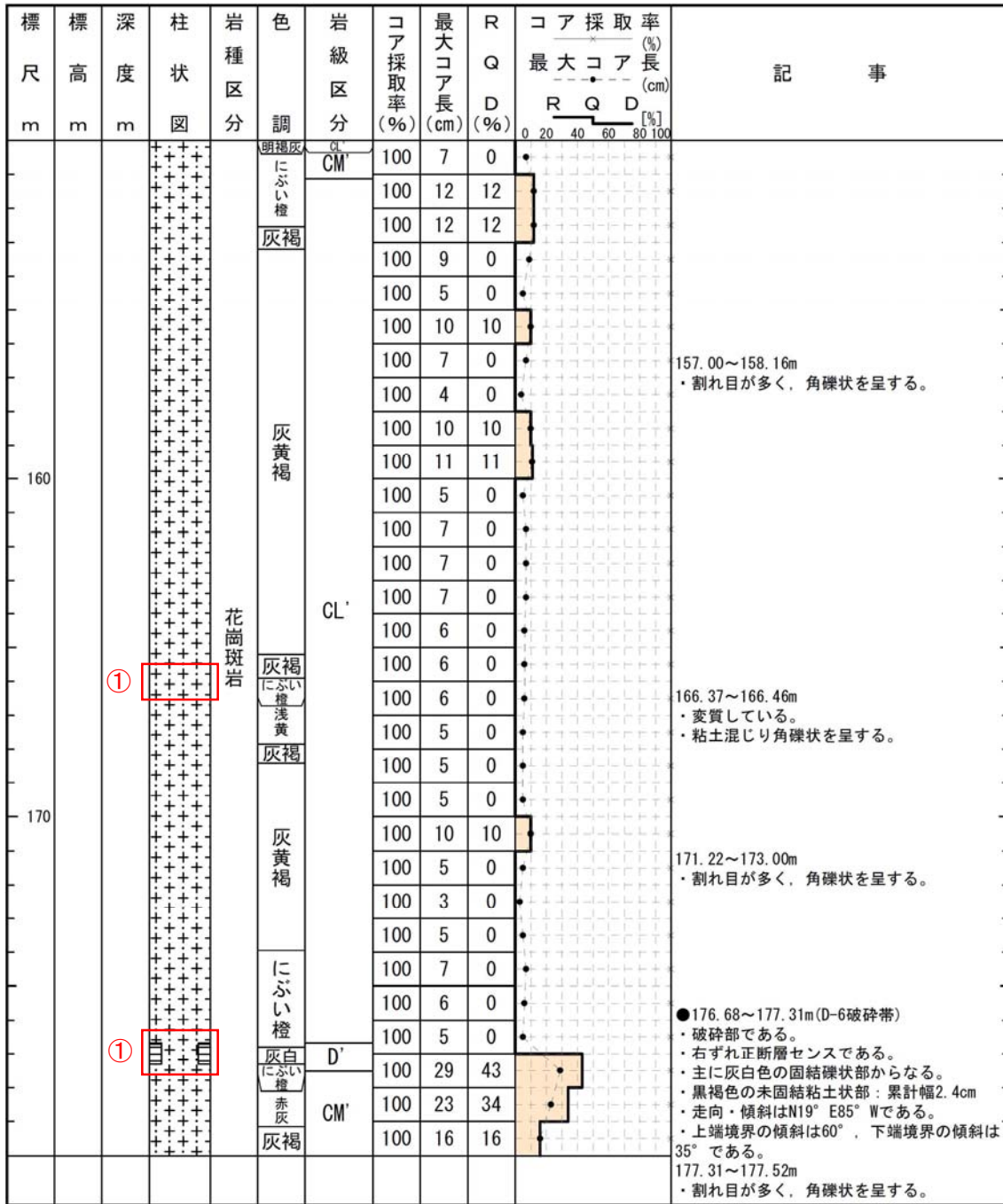
3-132(分類d)①
記事欄の記載変更に伴う変更。(破碎部模様の変更)



6-7-4-1083

第7.4.4.184図 (5) D-6破砕帯 ボーリング調査結果 (1号炉原子炉建屋北方) コア柱状図(H24-No. B8-22)

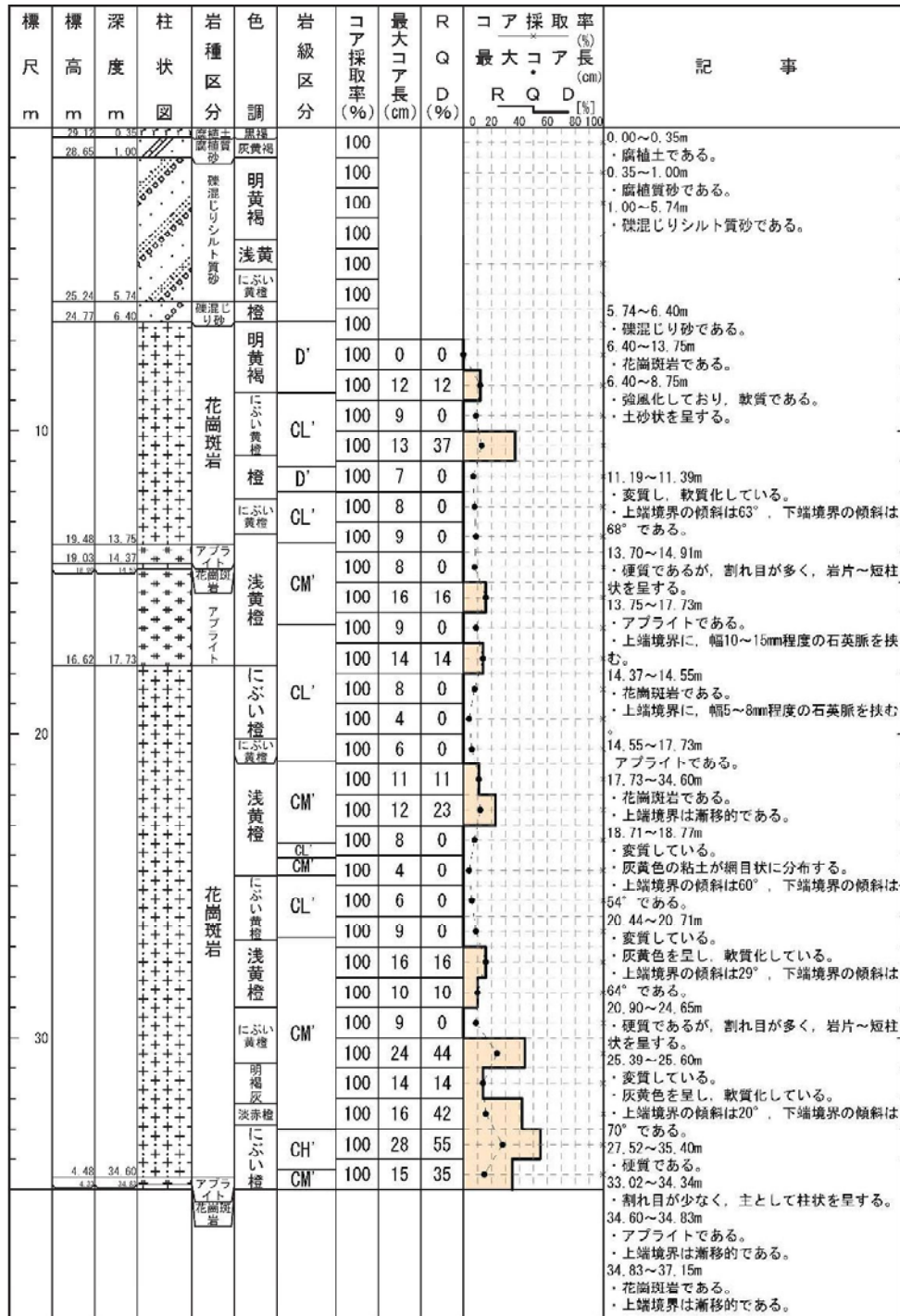
柱状図(150.00m~180.00m)



3-133, 3-134(分類d)①
記事欄の記載変更に伴う変更。(破碎部模様の変更)

H20-①-9

孔口標高	T.P. 29.37m	掘削長	75.00m
------	-------------	-----	--------



6-7-4-1085

第7.4.4.185図(1) D-5 破砕帯 ボーリング調査結果 (1号炉原子炉建屋付近) コア柱状図 (H20-No. ①-9孔)

H20-①-9

柱状図(00.00m~35.00m)

H20-①-9

孔口標高	T.P.	29.37m	掘削長	75.00m
------	------	--------	-----	--------

標尺 m	標高 m	深度 m	柱状 図②	岩種 区分	色 調	岩級 区分	コア 採取 率 (%)	最大 コア 長 (cm)	R Q D (%)	コア採取率 (%)			記事		
										最大 コア 長 (cm)	R	Q		D	
	29.12	0.35		有機質土	黒褐		100						0.00~0.35m ・有機質土である。		
	28.65	1.00		腐植質砂	灰黄褐		100						0.35~1.00m ・腐植質砂である。		
				礫混じりシルト質砂	明黄褐		100						1.00~5.74m ・礫混じりシルト質砂である。		
				礫混じりシルト質砂	浅黄		100								
	25.24	5.74		にぶい黄橙			100								
	24.77	6.40		礫混じり砂	橙		100						5.74~6.40m ・礫混じり砂である。		
10			①	花崗斑岩	明黄褐	D'	100	0	0				6.40~13.75m ・花崗斑岩である。		
					にぶい黄橙	CL'	100	9	0					6.40~8.75m ・強化しており、軟質である。 ・土砂状を呈する。	
					橙	D'	100	7	0					●11.19~11.73m(D-4破碎帯) ・破碎部である。 ・橙色の固結礫状部からなる。 ・走向・傾斜はN21° E70° Wである。	
		19.48			13.75	アフライト	浅黄橙	CM'	100	8	0				13.70~14.91m ・硬質であるが、割れ目が多く、岩片~短柱状を呈する。
		19.03			14.37	花崗斑岩	浅黄橙	CM'	100	16	16				13.75~17.73m ・アフライトである。 ・上端境界に、幅10~15mm程度の石英脈を挟む。
		18.59			14.59	アフライト	にぶい黄橙	CL'	100	14	14				14.37~14.55m ・花崗斑岩である。 ・上端境界に、幅5~8mm程度の石英脈を挟む。
20				花崗斑岩	にぶい黄橙	CL'	100	8	0				14.55~17.73m アフライトである。		
			浅黄橙		CM'	100	11	11					17.73~34.60m ・花崗斑岩である。		
			にぶい黄橙		CL'	100	4	0					18.71~18.77m ・変質している。 ・灰黄色の粘土が網目状に分布する。		
			にぶい黄橙		CL'	100	6	0					20.44~20.71m ・変質している。 ・灰黄色を呈し、軟質化している。		
			浅黄橙		CM'	100	9	0					20.90~24.65m ・硬質であるが、割れ目が多く、岩片~短柱状を呈する。		
			にぶい黄橙		CL'	100	16	16					25.39~25.60m ・変質している。 ・灰黄色を呈し、軟質化している。		
30				花崗斑岩	明褐灰		100	14	14				27.52~35.40m ・硬質である。		
			淡赤橙			100	24	44							
			にぶい黄橙		CM'	100	9	0							
			にぶい黄橙		CL'	100	14	14							
	4.48	34.60		アフライト	にぶい黄橙	CH'	100	28	55				33.02~34.34m ・割れ目が少なく、主として柱状を呈する。		
	4.32	34.82		花崗斑岩	にぶい黄橙	CM'	100	15	35				34.60~34.83m ・アフライトである。		
				花崗斑岩									34.83~37.15m ・花崗斑岩である。		

3-135(分類d)①
記事欄の記載変更に伴う変更。(破碎部模様の変更)
3-136(分類c)②
表現を統一したため。

標尺 m	標高 m	深度 m	柱状 図	岩種 区分	色調	岩級 区分	コア 採取率 (%)	最大 コア長 (cm)	R Q D (%)	コア採取率 (%) 最大コア長 (cm) R Q D [%]	記 事
				花崗斑岩	明褐色 凝結 灰	CL'	100	6	0		71.43~71.58m ・変質している。 ・明黄褐色を呈し、軟質化している。 ・上端境界の傾斜は8°、下端境界の傾斜は7°である。 72.58~72.80m ・変質している。 ・灰白色粘土が網目状に分布する。 ・上端境界の傾斜は56°、下端境界の傾斜は38°である。 73.39~73.62m ・変質している。 ・灰白色粘土が網目状に分布する。 ・上端境界の傾斜は72°、下端境界の傾斜は17°である。 ●73.91~74.75m (D-5破碎帯) ・破碎部である。 ・暗灰色の粘土状~灰白色の粘土混じり塊状を呈する。 ・暗灰色粘土：累計厚29mm ・走向・傾斜はN9° W84° Wである。 ・上盤境界の傾斜は3°、下盤境界の傾斜は70°である。
					明褐色 凝結 灰	CL'	100	3	0		
					明褐色 凝結 灰	CL'	100	7	0		
					明褐色 凝結 灰	CL'	100	7	0		
		-24.58	75.00		灰白 凝結 灰	D'	100	9	0		

6-7-4-1087

第7.4.4.185図 (3) D-5破碎帯 ボーリング調査結果 (1号炉原子炉建屋付近) コア柱状図 (H20-No. ①-9孔)

H20-①-9

柱状図(70.00m~75.00m)

標尺 m	標高 m	深度 m	柱状 図	岩種 区分	色 調	岩級 区分	コア 採取 率 (%)	最大 コア 長 (cm)	R Q D (%)	コア採取率 (%) 最大コア長 (cm) R Q D [%]	記 事
		①		花崗斑岩	明褐灰	CL'	100	6	0	<ul style="list-style-type: none"> ●71.43~71.48m(f-4-5破碎帯) ・破碎部である。 ・明黄褐色の固結礫状部からなる。 ・走向・傾斜はN80° W69° Nである。 ・下端境界の傾斜は72° である。 	
		①			明褐灰		100	3	0		
					明褐灰		100	7	0		
					灰白	D'	100	7	0		
				明褐灰	CM	100	9	0	<ul style="list-style-type: none"> ・変質している。 ・灰白色粘土が網目状に分布する。 		
										<ul style="list-style-type: none"> 72.58~72.80m ・変質している。 ・灰白色粘土が網目状に分布する。 	
										<ul style="list-style-type: none"> ●73.91~74.75m(D-5破碎帯) ・破碎部である。 ・主に灰白色の固結礫状部からなる。 ・暗褐灰色の未固結粘土状部：累計幅0.5cm ・走向・傾斜はN9° W84° Wである。 ・上端境界の傾斜は3°、下端境界の傾斜は69° である。 	

3-137, 3-138(分類d)①

記事欄の記載変更に伴う変更。(破碎部模様の変更)

H24-B11-1

孔口標高	I.P.	7.10m	掘削長	150.00m
------	------	-------	-----	---------

標尺 m	標高 m	深度 m	柱状 図	岩種 区分	色調	岩級 区分	コア 採取 率 (%)	最大 コア 長 (cm)	R Q D (%)	コア採取 率 (%) 最大コア 長 (cm) R Q D	率 (%) 長 (cm)	記 事
				埋土	灰黄褐		100					0.00~7.95m ・埋土である。
					灰黄		100					
					にぶい 黄褐色		100					
					灰黄		100					
					明黄褐		100					
					灰黄		100					
					黄褐色		100					
					灰黄		100					
		1.48	7.95		にぶい 黄褐色		95					7.95~8.66m ・礫・砂混り有機質シルトである。
		0.98	8.66		礫・砂 混り有機 質シルト		65					8.66~8.95m ・礫混り砂である。
		0.28	9.65		にぶい 黄褐色		100					9.65~10.03m ・有機質土である。
		0.01	10.03		スライム		100					10.03~11.37m ・礫混り砂である。
		-0.94	11.37		有機質土		100					11.37~12.20m ・礫混り有機質砂である。
		-1.53	12.20		有機質土		100					12.20~13.60m ・有機質土である。
		-2.52	13.60		有機質土		100					13.60~16.53m ・有機質土混り砂である。
		-4.59	16.53		有機質土		100					16.53~17.90m ・有機質土である。
		-5.56	17.90		有機質土		100					17.90~18.05m ・細礫混りシルト質砂である。
		-3.09	18.05		有機質土		100					18.05~18.28m ・有機質シルトである。
		-3.09	18.28		有機質土		100					18.28~23.15m ・礫混り砂である。
		-9.27	23.15		にぶい 黄褐色		100					23.15~25.00m ・礫質砂である。
		-10.58	25.00		にぶい 黄褐色		100					25.00~25.78m ・砂礫である。
		-11.13	25.78		にぶい 黄褐色		100					25.78~29.53m ・玉石混り砂礫である。 ・径10~100mmのアブライト、花崗斑岩の垂角~垂円礫を含む。
		-13.78	29.53		にぶい 黄褐色		100					29.53~30.29m ・シルト混り砂である。
		-14.32	30.29		にぶい 黄褐色		100					30.29~38.07m ・玉石混り砂礫である。 ・径10~100mmのアブライト、花崗斑岩の垂角~垂円礫を含む。
		-17.49	34.78		明黄褐		78					
		-18.16	35.72		スライム		72					35.72~36.70m ・花崗斑岩の礫である。
		-19.82	38.07		明黄褐		100					
					明黄褐		100					38.07~129.11m ・アブライトが主体である。 ・所々にベグマタイトを挟む。
					明褐灰	GL'	100	18	18			38.07~40.45m ・風化して軟質化している。 38.30m ・傾斜15°、幅5mmの石英脈を挟む。

6-7-4-1088

第7.4.4.186図 (1) D-5 破砕帯 ボーリング調査結果 (1号炉原子炉建屋北方) コア柱状図 (H24-No. B11-1)

H24-B11-1

柱状図(00.00m~35.00m)

H24-B11-1

孔口標高	T.P.	7.10m	掘削長	150.00m
------	------	-------	-----	---------

標尺 m	標高 m	深度 m	柱状 図	岩種 区分	色 調	岩級 区分	コア 採取 率 (%)	最大 コア 長 (cm)	R Q D (%)	コア採取率 (%)		記 事
										最大コア長 (cm)	最大コア長 (cm)	
				埋土	灰黄褐		100					0.00~7.95m ・埋土である。
		1.48			灰黄		100					
		0.98			灰黄		100					
		0.73			にふい黄		100					
		0.28			明黄褐		100					
		0.01			灰黄		100					
		7.95			灰黄		100					
		7.95			にふい黄		100					
		8.66			灰黄褐		95					7.95~8.66m ・礫・砂混じり有機質シルトである。
		8.66			褐灰		65					8.66~8.95m ・礫混じり砂である。
		9.65			にふい黄		100					9.65~10.03m ・有機質土である。
		11.37			暗灰黄		100					10.03~11.37m ・礫混じり砂である。
		12.20			黒褐		100					11.37~12.20m ・礫混じり有機質砂である。
		13.60			褐灰		100					12.20~13.60m ・有機質土である。
		16.53			灰		100					13.60~16.53m ・有機質土混じり砂である。
		17.90			黒黄褐色		100					16.53~17.90m ・有機質土である。
		18.05			黒灰		100					17.90~18.05m ・細礫混じりシルト質砂である。
		18.28			褐灰		100					18.05~18.28m ・有機質シルトである。
		23.15			灰黄		100					18.28~23.15m ・礫混じり砂である。
		25.00			にふい黄		100					23.15~25.00m ・礫質砂である。
		25.78			明褐灰		100					25.00~25.78m ・砂礫である。
		29.53			褐灰		100					25.78~29.53m ・玉石混じり砂礫である。
		29.53			灰黄		100					・径10~100mmのアブライト、花崗斑岩の垂角~亜円礫を含む。
		30.29			にふい黄		100					29.53~30.29m ・シルト混じり砂である。
		34.78			灰黄		100					30.29~34.78m ・玉石混じり砂礫である。
		34.78			明黄褐		100					・径10~100mmのアブライト、花崗斑岩の垂角~亜円礫を含む。
					にふい黄		78					

3-139~3-148(分類c)①
表現を統一したため。

H24-B11-1

孔口標高	I.P.	7.10m	掘削長	150.00m
------	------	-------	-----	---------

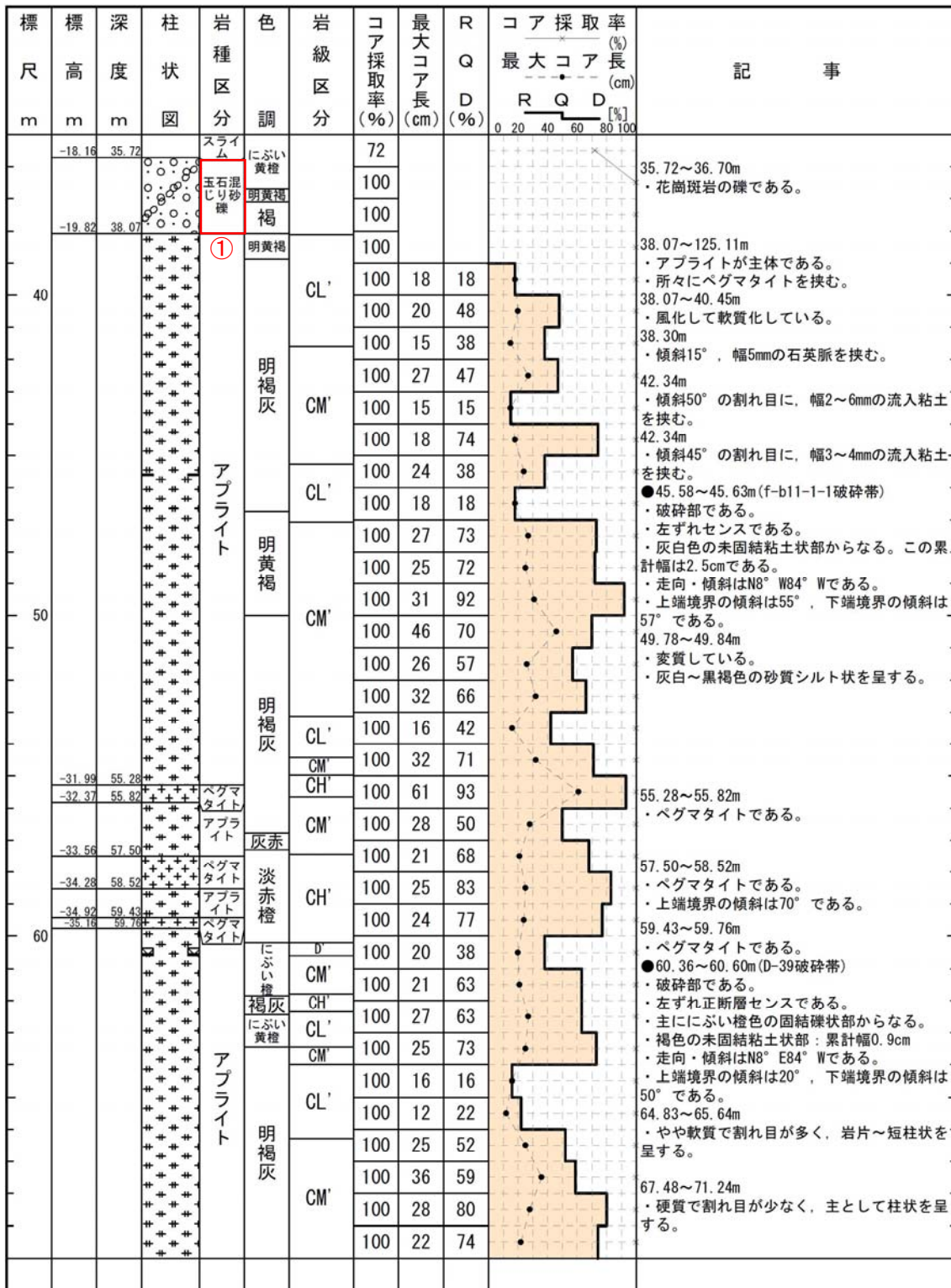
標尺 m	標高 m	深度 m	柱状 図	岩種 区分	色調	岩級 区分	コア 採取 率 (%)	最大 コア 長 (cm)	R Q D (%)	コア採取 率 (%) 最大コア 長 (cm) R Q D	率 (%) 長 (cm)	記 事
				埋土	灰黄褐		100					0.00~7.95m ・埋土である。
					灰黄		100					
					にぶい 黄褐色		100					
					灰黄		100					
					明黄褐		100					
					灰黄		100					
					黄褐色		100					
					灰黄		100					
		1.48	7.95		にぶい 黄褐色		95					7.95~8.66m ・礫・砂混り有機質シルトである。
		0.98	8.66		礫・砂 混り有機 質シルト		65					8.66~8.95m ・礫混り砂である。
		0.28	9.65		にぶい 黄褐色		100					9.65~10.03m ・有機質土である。
		0.01	10.03		スライム		100					10.03~11.37m ・礫混り砂である。
		-0.94	11.37		有機質土		100					11.37~12.20m ・礫混り有機質砂である。
		-1.53	12.20		有機質土		100					12.20~13.60m ・有機質土である。
		-2.52	13.60		有機質土		100					13.60~16.53m ・有機質土混り砂である。
		-4.59	16.53		有機質土		100					16.53~17.90m ・有機質土である。
		-5.56	17.90		有機質土		100					17.90~18.05m ・細礫混りシルト質砂である。
		-3.09	18.05		有機質土		100					18.05~18.28m ・有機質シルトである。
		-3.09	18.28		有機質土		100					18.28~23.15m ・礫混り砂である。
		-9.27	23.15		にぶい 黄褐色		100					23.15~25.00m ・礫質砂である。
		-10.58	25.00		にぶい 黄褐色		100					25.00~25.78m ・砂礫である。
		-11.13	25.78		にぶい 黄褐色		100					25.78~29.53m ・玉石混り砂礫である。 ・径10~100mmのアブライト、花崗斑岩の垂角~垂円礫を含む。
		-13.78	29.53		にぶい 黄褐色		100					29.53~30.29m ・シルト混り砂である。
		-14.32	30.29		にぶい 黄褐色		100					30.29~38.07m ・玉石混り砂礫である。 ・径10~100mmのアブライト、花崗斑岩の垂角~垂円礫を含む。
		-17.49	34.78		明黄褐		78					
		-18.16	35.72		スライム		72					35.72~36.70m ・花崗斑岩の礫である。
		-19.82	38.07		明黄褐		100					
					明黄褐		100					38.07~129.11m ・アブライトが主体である。 ・所々にベグマタイトを挟む。
					明褐灰	GL'	100	18	18			38.07~40.45m ・風化して軟質化している。 38.30m ・傾斜15°、幅5mmの石英脈を挟む。

6-7-4-1088

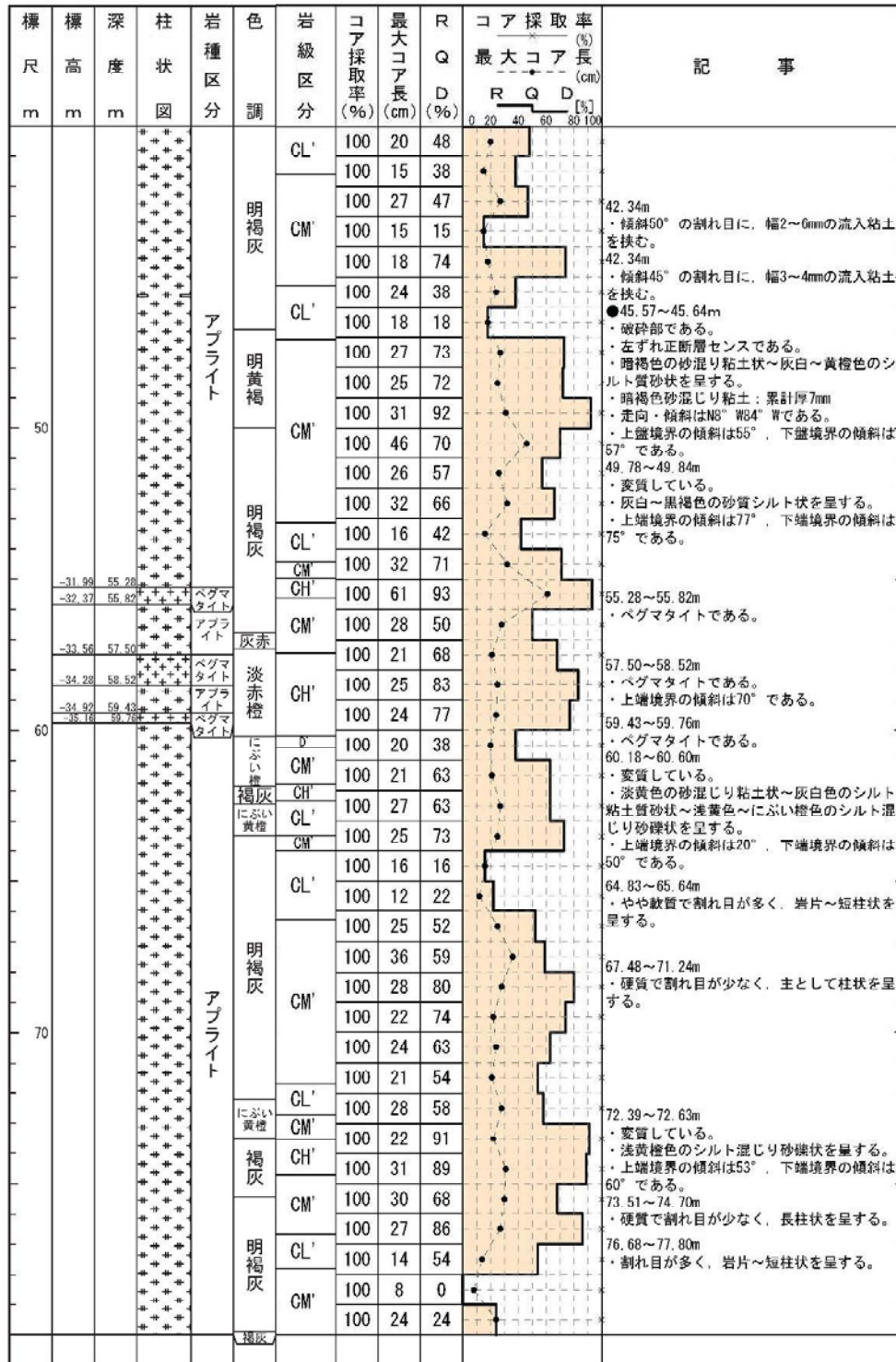
第7.4.4.186図 (1) D-5 破砕帯 ボーリング調査結果 (1号炉原子炉建屋北方) コア柱状図 (H24-No. B11-1)

H24-B11-1

柱状図(35.00m~70.00m)



3-149(分類c)①
表現を統一したため。

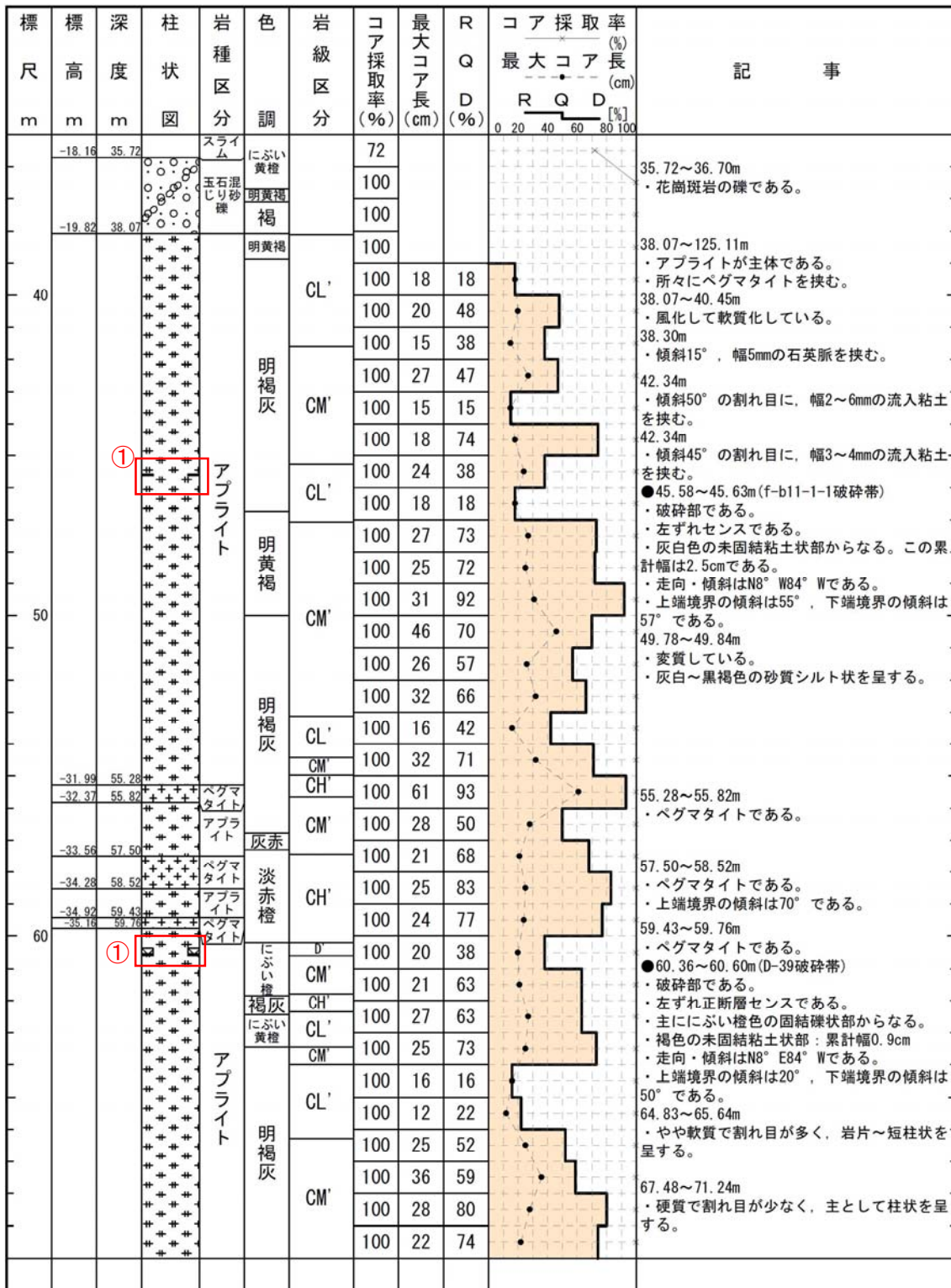


6-7-4-1089

第7.4.4.186図(2) D-5 破碎帯 ボーリング調査結果(1号炉原子炉建屋北方) コア柱状図(H24-No. B11-1)

H24-B11-1

柱状図(35.00m~70.00m)



3-150, 3-151(分類d)①
記事欄の記載変更に伴う変更。(破碎部模様の変更)

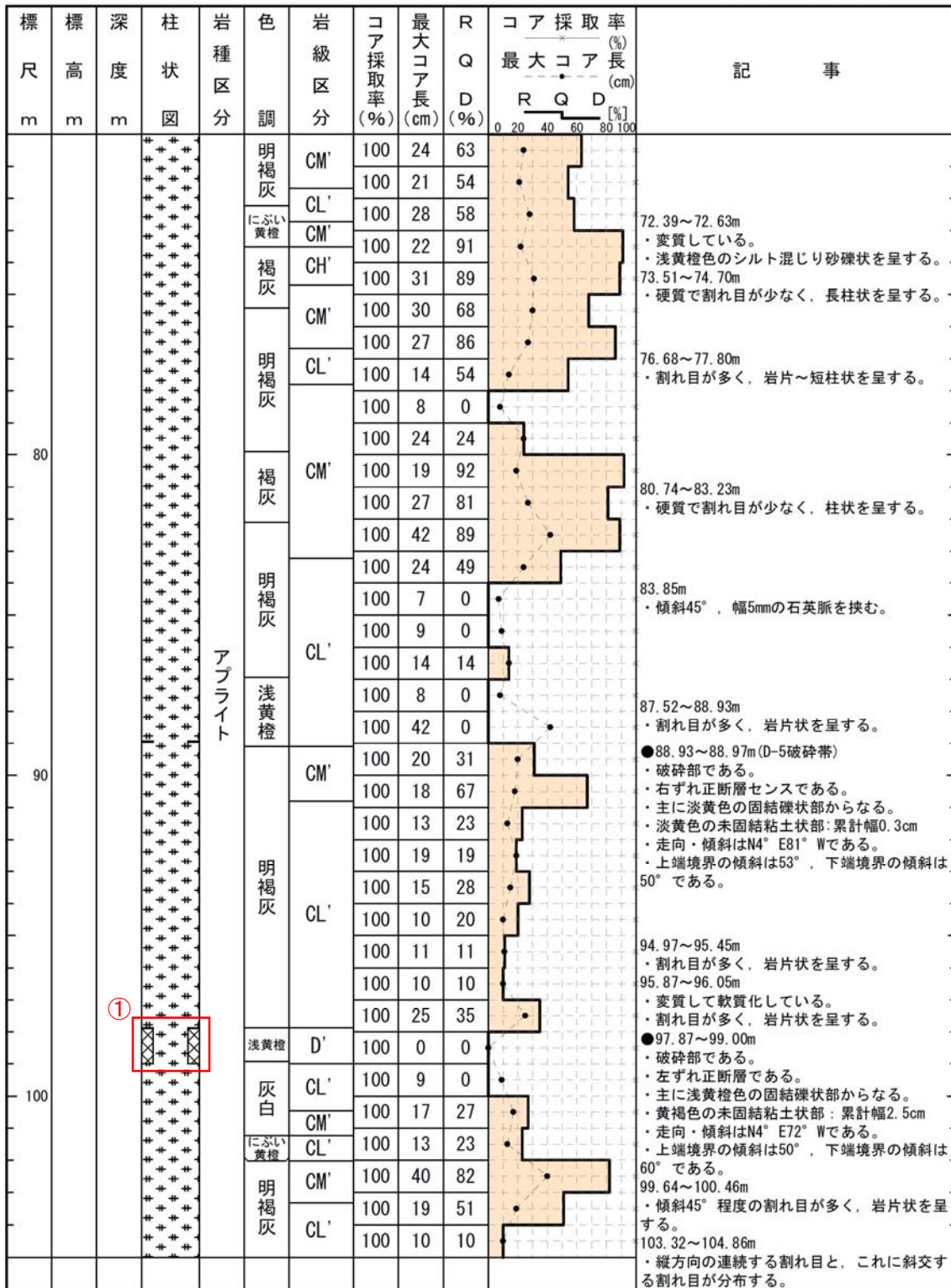
標尺 m	標高 m	深度 m	柱状 図	岩種 区分	色 調	岩級 区分	コア 採取 率 (%)	最大 コア 長 (cm)	R Q D (%)	コア採取 率 (%) 最大コア 長 (cm)	記事	
90			+	ア プ ラ イ ト	褐 灰	CM'	100	19	92		80.74~83.23m ・硬質で割れ目が少なく、柱状を呈する。	
							100	27	81		83.85m ・傾斜45°、幅5mmの石英脈を挟む。	
						明 褐 灰	CL'	100	42		89	87.52~88.93m ・割れ目が多く、岩片状を呈する。
								100	24		49	
								100	7		0	
								100	9		0	
						浅 黄 橙	CM'	100	14		14	88.93~88.97m (D-5破碎帯) ・破碎部である。 ・右ずれ正断層センスである。 ・淡黄色の砂礫混りシルト・粘土状を呈する。 ・上盤境界の傾斜は53°、下盤境界の傾斜は50°である。
								100	8		0	
						明 褐 灰	CM'	100	42		0	
								100	20		31	
								100	18		67	
								100	13		23	
							CL'	100	19		19	
								100	15		28	
								100	10		20	
								100	11		11	
						浅 黄 橙	D'	100	10		10	94.97~95.45m ・割れ目が多く、岩片状を呈する。 95.87~96.05m ・変質して軟質化している。 ・割れ目が多く、岩片状を呈する。
								100	25		35	
						灰 白	CL'	100	0		0	97.87~99.00m ・破碎部である。 ・左ずれ正断層センスである。 ・黄褐色の粘土~礫混じり粘土状~灰白色の礫混じりシルト質砂状~砂礫状を呈する。
								100	9		0	
に ぶ い 黄 橙	CM'	100	17	27	97.87~99.00m ・破碎部である。 ・左ずれ正断層センスである。 ・黄褐色粘土~礫混じり粘土：累計厚33mm ・走向・傾斜はN4° E72° Wである。 ・上盤境界の傾斜は50°、下盤境界の傾斜は60°である。							
		100	13	23								
明 褐 灰	CL'	100	40	82	99.64~100.46m ・傾斜45°程度の割れ目が多く、岩片状を呈する。 103.32~104.86m ・縦方向の連続する割れ目と、これに斜交する割れ目が分布する。							
		100	19	51								
	灰 褐	CM'	100	10		10						
			100	18		36						
灰 白	CL'	100	26	87	108.59~108.91m ・破碎部である。カタクレーサイトからなる。 ・灰白色の砂礫質シルト・粘土~砂質シルト・粘土状~にぶい黄褐色のシルト・粘土混じり砂礫状を呈する。 ・走向・傾斜はN16° E82° Eである。 ・上盤境界の傾斜は55°、下盤境界の傾斜は52°である。							
		100	7	0								
灰 黄 褐	CL'	100	20	46	109.66~109.73m ・破碎部である。カタクレーサイトからなる。 ・灰白色の粘土質砂状~粘土混り砂礫状を呈する。 ・走向・傾斜はN3° W87° Wである。 ・上盤境界の傾斜は60°、下盤境界の傾斜は50°である。							
		100	13	25								
		100	13	25								
	CM'	100	9	0								
		100	11	11								
		100	35	77								
に ぶ い 黄 橙	CH'	100	15	49	113.03~114.20m ・硬質で割れ目は少なく、柱状を呈する。							
		100	22	48								
灰 白	CM'	100	48	93	116.53~117.61m ・硬質で割れ目は少なく、長柱状を呈する。							
		100	29	79								
灰 褐	CM'	100	25	49								
		100	20	45								

6-7-4-1090

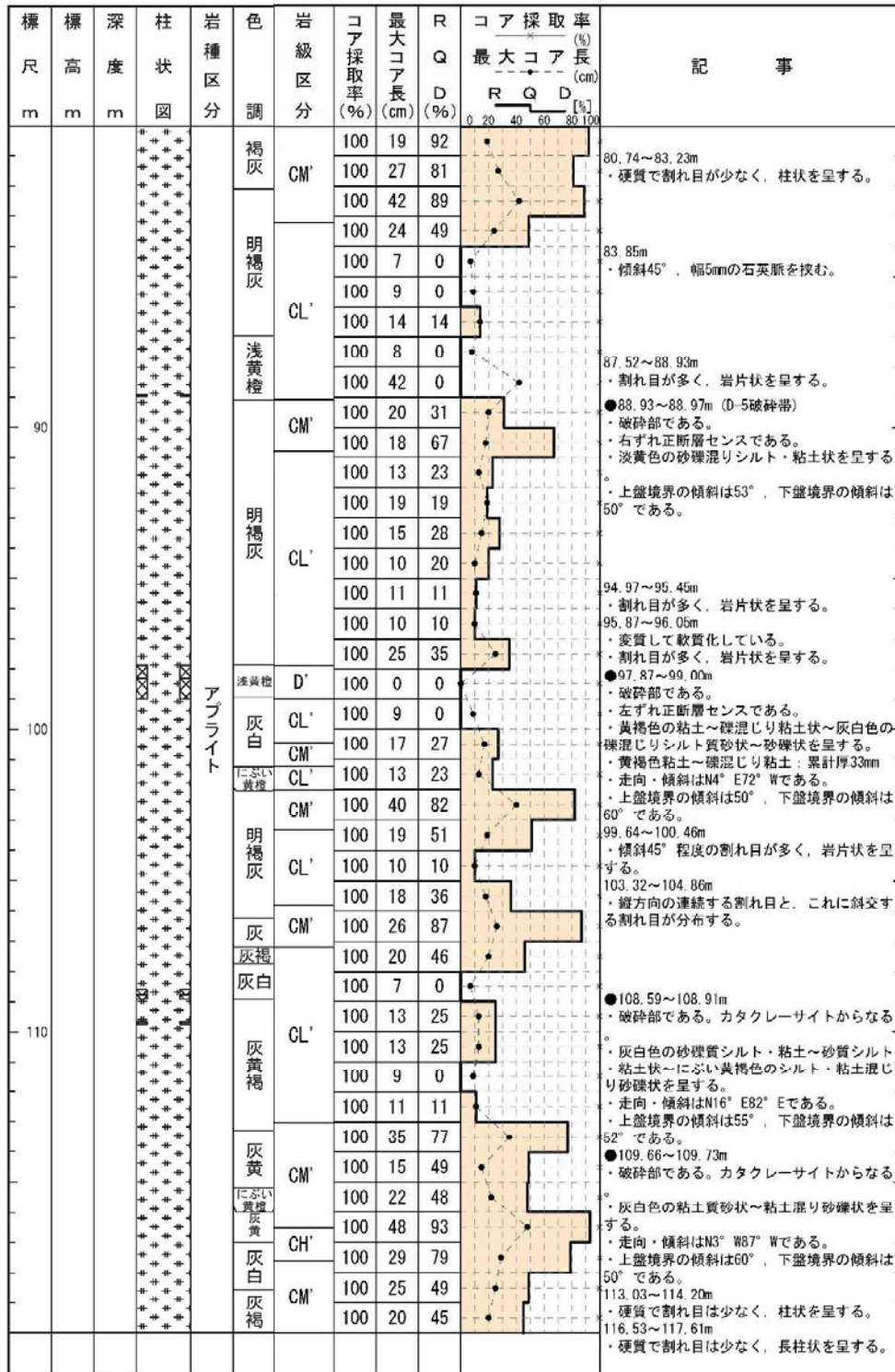
第7.4.4.186図 (3) D-5 破碎帯 ボーリング調査結果 (1号炉原子炉建屋北方) コア柱状図 (H24-No. B11-1)

H24-B11-1

柱状図(70.00m~105.00m)



3-152(分類d)①
記事欄の記載変更に伴う変更。(破碎部模様の変更)

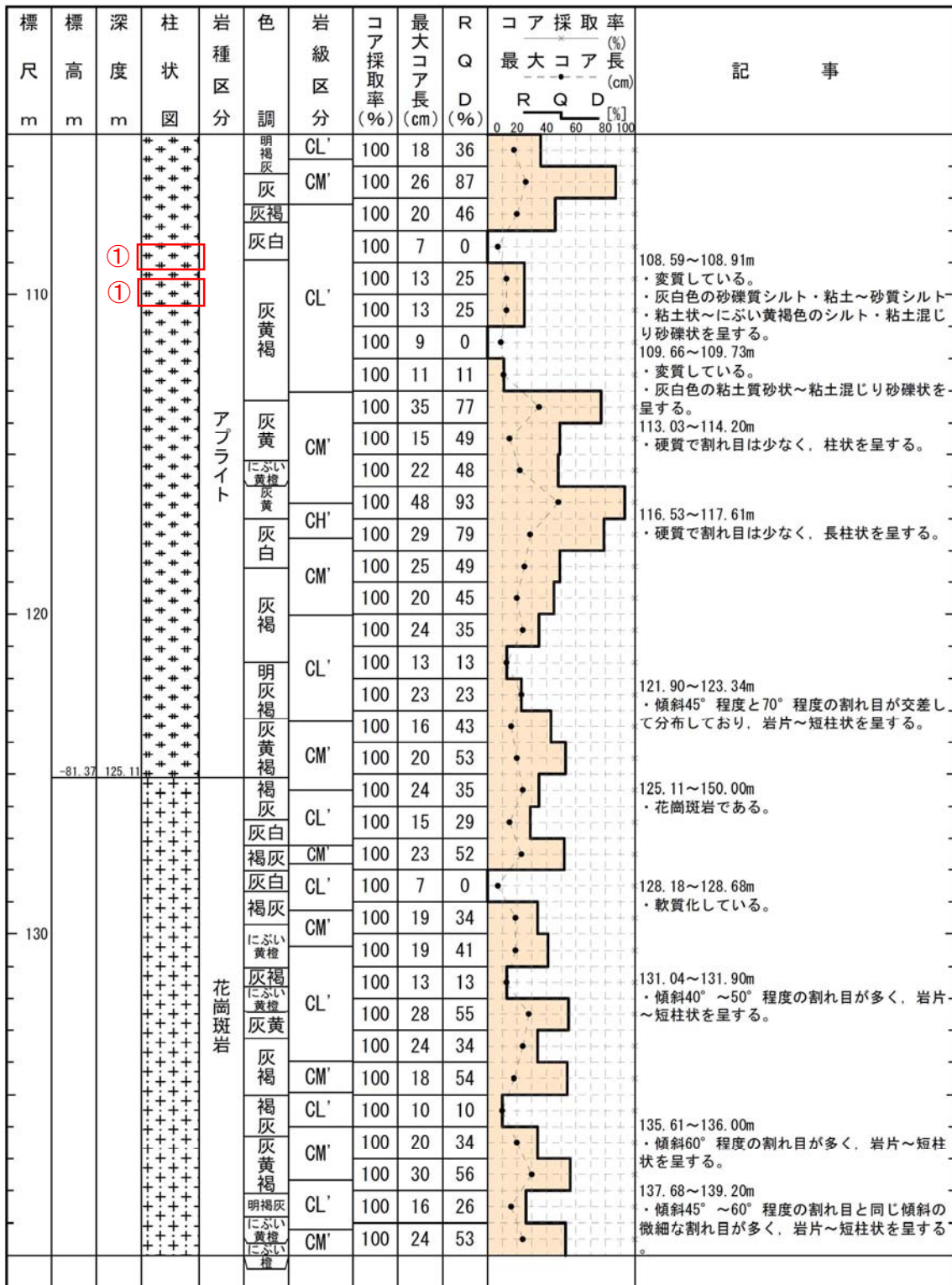


6-7-4-1090

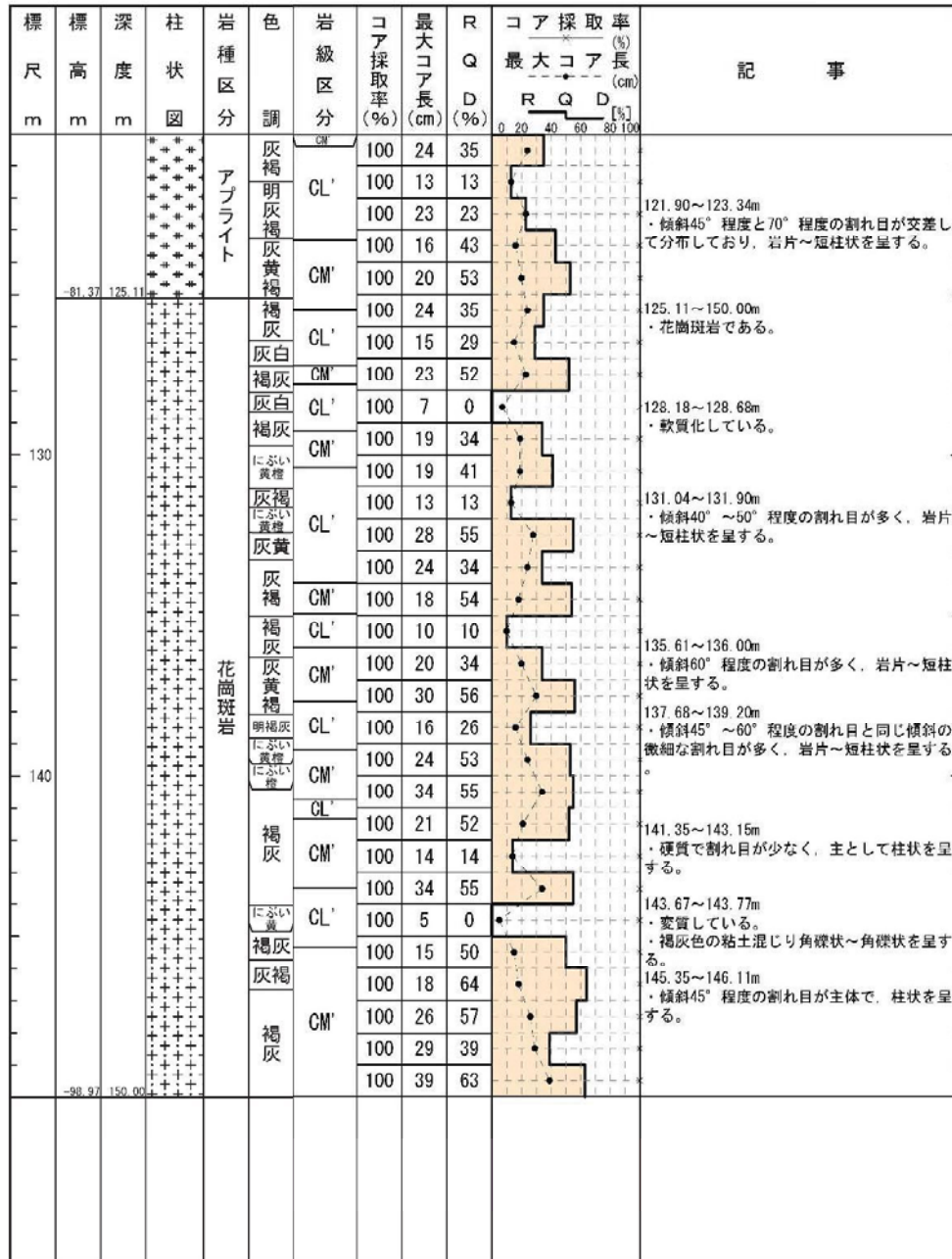
第7.4.4.186図 (3) D-5 破碎帯 ボーリング調査結果 (1号炉原子炉建屋北方) コア柱状図 (H24-No. B11-1)

H24-B11-1

柱状図(105.00m~140.00m)



3-153, 3-154(分類d)①
記事欄の記載変更に伴う変更。(破碎部模様の変更)



第7.4.4.186図 (4) D-5 破碎帯 ボーリング調査結果 (1号炉原子炉建屋北方) コア柱状図 (H24-No. B11-1)

H24-B11-1

柱状図(140.00m~150.00m)

標尺 m	標高 m	深度 m	柱状図	岩種区分	色調	岩級区分	コア採取率 (%)	最大コア長 (cm)	R Q D (%)	コア採取率 (%) 最大コア長 (cm)	R Q D [%]	記事
				花崗斑岩	にふい橙	CM'	100	34	55		141.35~143.15m ・硬質で割れ目が少なく、主として柱状を呈する。 ●143.67~143.77m ・破碎部である。 ・右ずれセンスである。 ・褐灰色の固結礫状部からなる。 ・走向・傾斜はN8° E87° Eである。 145.35~146.11m ・傾斜45°程度の割れ目が主体で、柱状を呈する。	
					にふい黄	CL'	100	21	52			
					にふい黄	CM'	100	14	14			
					にふい黄	CL'	100	34	55			
					にふい黄	CL'	100	5	0			
					にふい黄	CM'	100	15	50			
					にふい黄	CL'	100	18	64			
					にふい黄	CM'	100	26	57			
					にふい黄	CL'	100	29	39			
					にふい黄	CM'	100	39	63			

3-155(分類d)①
記事欄の記載変更に伴う変更。(破碎部模様の変更)

H24-B8-21

孔口標高	T.P. 7.28m	掘削長	240.00m
------	------------	-----	---------

標尺 m	標高 m	深度 m	柱状 図	岩種 区分	色 調	岩級 区分	コア 採取 率 (%)	最大 コア 長 (cm)	R Q D (%)	コア採取率 (%)			記 事
										最大 コア 長 (cm)	R	Q	
				埋土	にぶい 黄緑 褐灰		100					0.00~3.00m ・埋土である。	
	5.16	3.00		砂礫	黄灰		84					3.00~3.84m ・砂礫である。 ・径5~30cmの硬質亜角~亜円礫を60~70%含む。	
	4.56	3.84		スライム	灰白		0						
	3.74	5.00		砂礫	灰		100					3.48~5.00m ・スライム。	
	3.59	5.36		砂礫	黄灰		100					5.30~6.92m ・礫である。	
	2.39	6.92		礫混り砂	明黄緑		100					6.92~10.30m ・礫混り砂である。 ・シルトを混入する不均質な砂が主体である。	
10	-0.00	10.30		礫質砂	灰白		100					10.30~15.15m ・礫質砂である。	
	-3.43	15.15		明オリ ブ灰	明オリ ブ灰		100						
	-4.74	17.00		砂礫	灰白		100					15.15~17.00m ・砂礫である。	
	-5.08	17.48		スライム	灰白		52					17.00~17.48m ・スライム。	
	-5.29	17.78		礫混り 砂質シルト	黄緑		100					17.48~17.78m ・礫混り砂質シルトである。	
20	-6.40	19.46		シルト 質砂	灰		100					17.78~19.46m ・礫混りシルト質砂である。 ・シルトを多く含む不均質な砂で細礫が混る。	
	-8.28	22.00		有機質 砂	灰オリ ブ灰		100					19.46~19.73m ・有機質砂である。	
	-8.72	22.63		有機物 混り砂	灰		100					19.73~22.00m ・礫質砂である。	
	-9.44	23.64		砂礫	淡黄 灰		100					22.00~22.63m ・有機物・礫混り砂である。	
	-9.99	24.43		砂礫	黄緑 淡黄		43					22.63~23.64m ・礫質砂である。	
	-10.60	25.28		スライム	淡黄		82					23.64~24.43m ・砂礫である。	
	-11.47	26.51		礫混り 砂	灰白		100					24.43~25.28m ・スライム。	
30				砂礫	灰白		100					25.28~26.51m ・礫混り砂である。	
					にぶい 黄		100					26.51~37.67m ・砂礫である。	
					にぶい 黄緑		100						

6-7-4-1092

第7.4.4.187図(1) D-5破砕帯 ボーリング調査結果(1号炉原子炉建屋北方) コア柱状図(H24-No. B8-21)

H24-B8-21

柱状図(0.00m~30.00m)

H24-B8-21

孔 口 標 高	T. P.	7.28m	掘 削 長	240.00m
---------	-------	-------	-------	---------

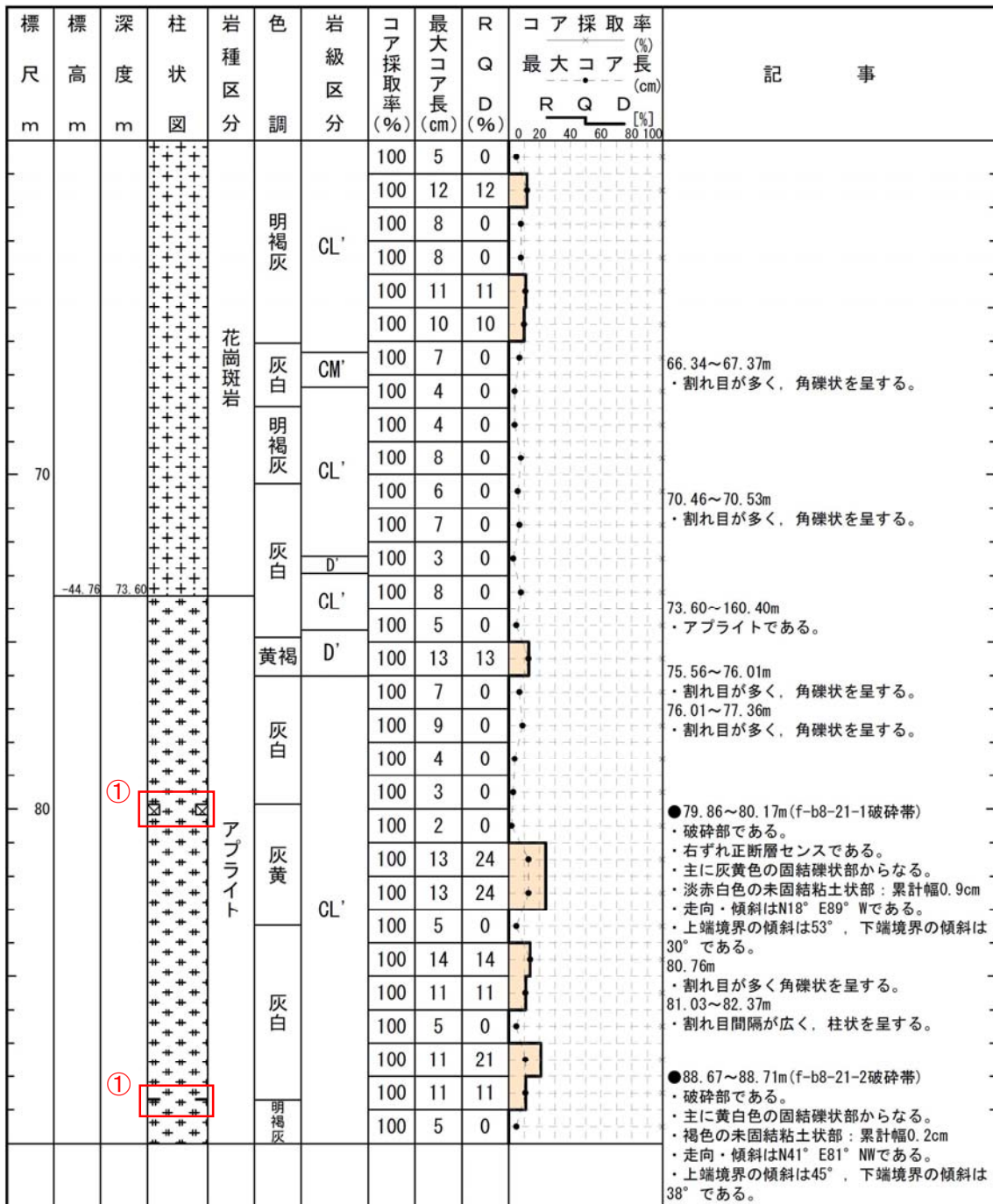
標 尺 m	標 高 m	深 度 m	柱 状 図	岩 種 区 分	色 調	岩 級 区 分	コ ア 採 取 率 (%)	最 大 コ ア 長 (cm)	R Q D (%)	コ ア 採 取 率 (%)		記 事
										最 大 コ ア 長 (cm)	最 大 コ ア 長 (cm)	
				埋土	にふい黄褐色		100					0.00~3.00m ・埋土である。
		5.16			褐灰		100					
		3.00					100					
		4.56		砂礫	黄灰		84					3.00~3.84m ・砂礫である。 ・径5~30cmの硬質亜角~亜円礫を60~70%含む。
		3.84		スライム	灰白		0					
		3.74					100					3.48~5.00m ・スライム。
		5.00		砂礫	灰		100					5.00~5.30m ・砂礫である。
		3.53			黄灰		100					5.30~6.92m ・礫である。
		6.92		礫	明黄褐色		100					6.92~10.30m ・礫混じり砂である。 ・シルトを混入する不均質な砂が主体である。
10		-0.00		礫混じり砂	灰白 浅黄褐色 浅黄 明黄褐色 明オリーブ灰		100					
		10.30			灰白		100					10.30~15.15m ・礫質砂である。
				礫質砂	明オリーブ灰 灰白 明黄褐色		100					
		-3.43					100					15.15~17.00m ・砂礫である。
		17.00		砂礫	灰白 灰		100					17.00~17.48m ・スライム。
		-4.74					100					17.48~17.78m ・礫混じり砂質シルトである。
		17.48		スライム	灰 黄褐色		52					17.78~19.46m ・礫混じりシルト質砂である。 ・シルトを多く含む不均質な砂で細礫が混じる。
		17.78		礫混じり砂質シルト質砂			100					19.46~19.73m ・有機質砂である。
		-6.48		礫混じり砂	灰		100					19.73~22.00m ・礫質砂である。
20		19.46		有機質砂	明オリーブ灰 明オリーブ灰		100					22.00~22.63m ・有機物・礫混じり砂である。
		-8.28		有機質砂	灰 淡黄		100					22.63~23.64m ・有機物・礫混じり砂である。
		22.63		有機物・礫混じり砂	灰 黄褐色		43					23.64~24.43m ・砂礫である。 ・径2~20mmの亜角礫を含む。
		-9.44		礫質砂	灰 淡黄		100					24.43~25.28m ・スライム。
		25.28		砂礫			82					25.28~26.51m ・礫混じり砂である。
		-10.60		スライム			100					26.51~37.67m ・砂礫である。
		26.51		礫混じり砂	灰白		100					
		-11.47		砂礫			100					
				砂礫			100					

3-156~3-160(分類c)①
表現を統一したため。

標尺 m	標高 m	深度 m	柱状 図	岩種 区分	色 調	岩 級 区 分	コア 採取 率 (%)	最大 コア 長 (cm)	R Q D (%)	コア採取率 最大コア長 (cm)	R Q D [%]	記 事							
													0 20 40 60 80 100						
70	-44.76	73.60	+	花崗斑岩	灰白	CL'	100	7	0	●	66.34~67.37m ・割れ目が多く、角礫状を呈する。								
						CM'	100	4	0	●									
						明褐灰	CL'	100	4	0		●							
							CL'	100	8	0		●							
							CL'	100	6	0		●							
							CL'	100	7	0		●							
						80	73.60	+	花崗斑岩	灰白		D'	100	3	0	●	70.46~70.53m ・割れ目が多く、角礫状を呈する。		
												CL'	100	8	0	●			
												D'	100	5	0	●			
												黄褐	D'	100	13	13		■	
													灰白	CL'	100	7		0	●
														CL'	100	9		0	●
CL'	100	4	0	●															
90	73.60	+	アプライト	灰黄	CL'	100	3	0	●	73.60~160.40m ・アプライトである。									
					CL'	100	5	0	●										
					CL'	100	13	13	■										
					CL'	100	7	0	●										
					CL'	100	9	0	●										
					CL'	100	4	0	●										
				灰白	CL'	100	3	0	●										
					CL'	100	2	0	●										
					CL'	100	13	24	■										
					CL'	100	13	24	■										
					CL'	100	5	0	●										
					CL'	100	14	14	■										
明褐灰	CL'	100	11	11	■														
	CL'	100	5	0	●														
	CL'	100	11	21	■														
	CL'	100	11	11	■														
	CL'	100	5	0	●														
	CL'	100	4	0	●														
褐灰	D'	100	4	0	●														
	D'	100	4	0	●														
	D'	100	11	11	■														
	D'	100	6	0	●														
	D'	100	5	0	●														
	D'	100	3	0	●														
明褐灰	CL'	100	13	13	■														
	CL'	100	8	0	●														
	CL'	100	13	13	■														
	CL'	100	8	0	●														
	CL'	100	13	13	■														
	CL'	100	13	13	■														

第7.4.4.187図 (3) D-5 破砕帯 ボーリング調査結果 (1号炉原子炉建屋北方) コア柱状図(H24-No. B8-21)

柱状図(60.00m~90.00m)

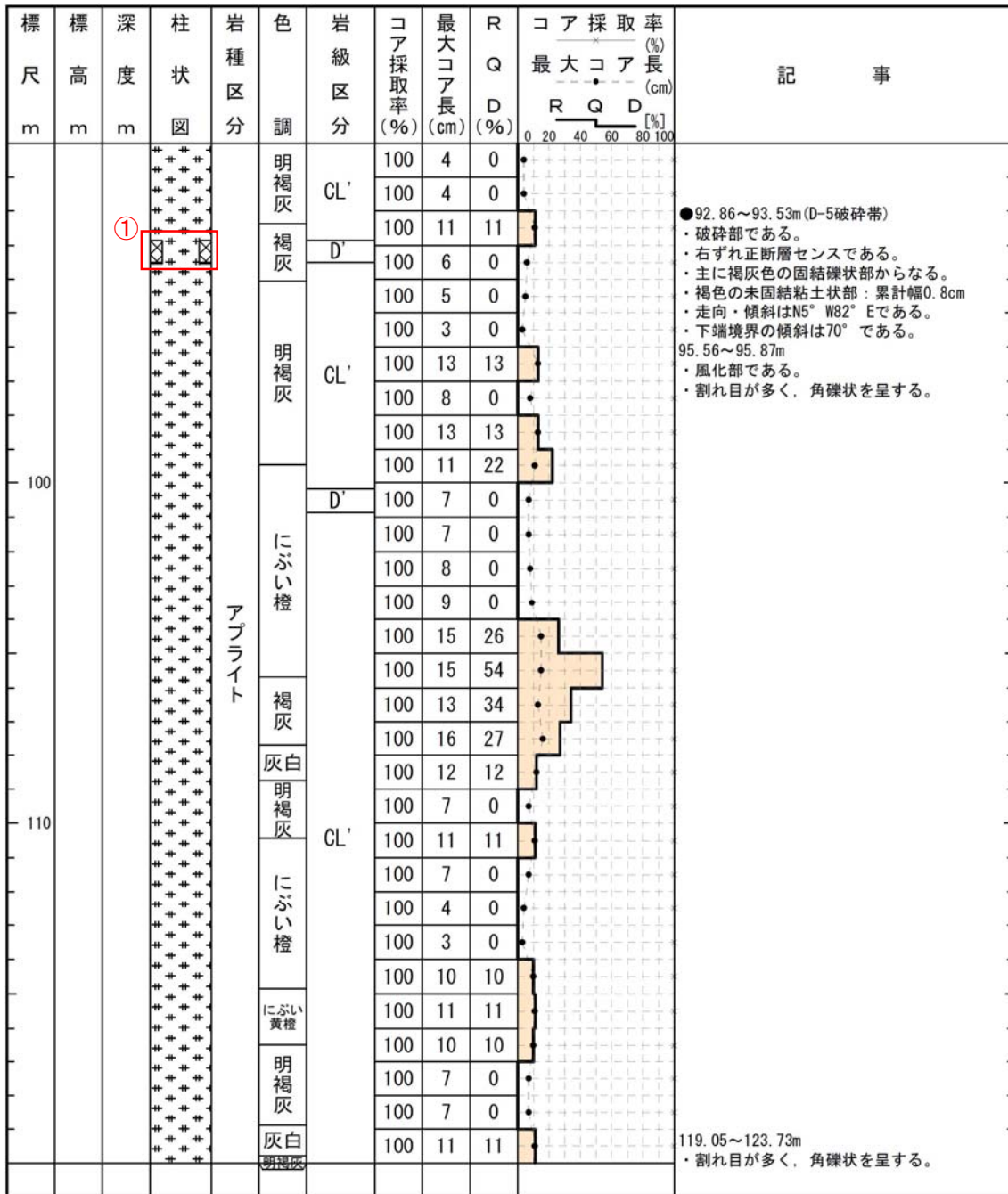


3-161, 3-162(分類d)①
記事欄の記載変更に伴う変更。(破碎部模様の変更)

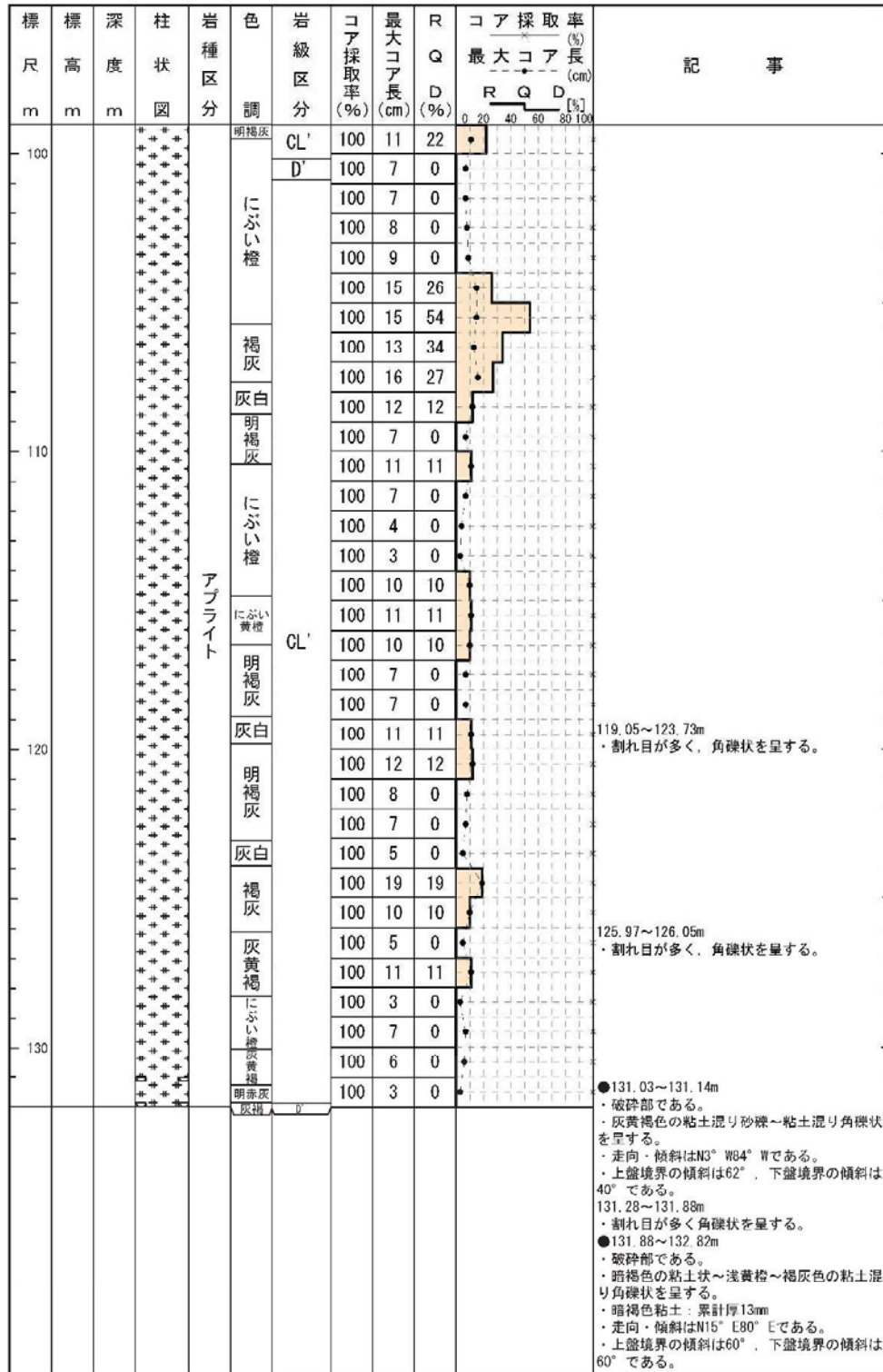
標尺 m	標高 m	深度 m	柱状 図	岩種 区分	色 調	岩 級 区 分	コア 採取 率 (%)	最大 コア 長 (cm)	R Q D (%)	コア採取率 最大コア長 (cm)	R Q D [%]	記 事	
													0 20 40 60 80 100
70	-44.76	73.60	+	花崗斑岩	灰白	CM'	100	7	0	●	0 20 40 60 80 100	66.34~67.37m ・割れ目が多く、角礫状を呈する。	
						CL'	100	4	0				
					明褐灰	CL'	100	4	0				
						CL'	100	8	0				
						CL'	100	6	0				
						CL'	100	7	0				
				アプライト	灰白	D'	100	3	0				
						CL'	100	8	0				
					黄褐	D'	100	5	0				
						D'	100	13	13				
						灰白	CL'	100	7				0
							CL'	100	9				0
CL'	100	4	0										
80			+	アプライト	灰黄	CL'	100	3	0				
						CL'	100	2	0				
						CL'	100	13	24				
					灰白	CL'	100	13	24				
						CL'	100	5	0				
						CL'	100	14	14				
				花崗斑岩	灰白	CL'	100	11	11				
						CL'	100	5	0				
						CL'	100	11	21				
					明褐灰	CL'	100	11	11				
						CL'	100	5	0				
						CL'	100	4	0				
90			+	アプライト	褐灰	D'	100	4	0				
						D'	100	4	0				
						D'	100	11	11				
					明褐灰	CL'	100	11	11				
						CL'	100	5	0				
						CL'	100	4	0				
				花崗斑岩	明褐灰	CL'	100	11	11				
						CL'	100	11	11				
						CL'	100	5	0				
					明褐灰	CL'	100	4	0				
						CL'	100	4	0				
						CL'	100	11	11				
90			+	アプライト	明褐灰	D'	100	6	0				
						D'	100	5	0				
						D'	100	3	0				
					明褐灰	CL'	100	13	13				
						CL'	100	8	0				
						CL'	100	13	13				
				花崗斑岩	明褐灰	CL'	100	3	0				
						CL'	100	13	13				
						CL'	100	8	0				
					明褐灰	CL'	100	13	13				
						CL'	100	8	0				
						CL'	100	13	13				

第7.4.4.187図 (3) D-5 破砕帯 ボーリング調査結果 (1号炉原子炉建屋北方) コア柱状図(H24-No. B8-21)

柱状図(90.00m~120.00m)



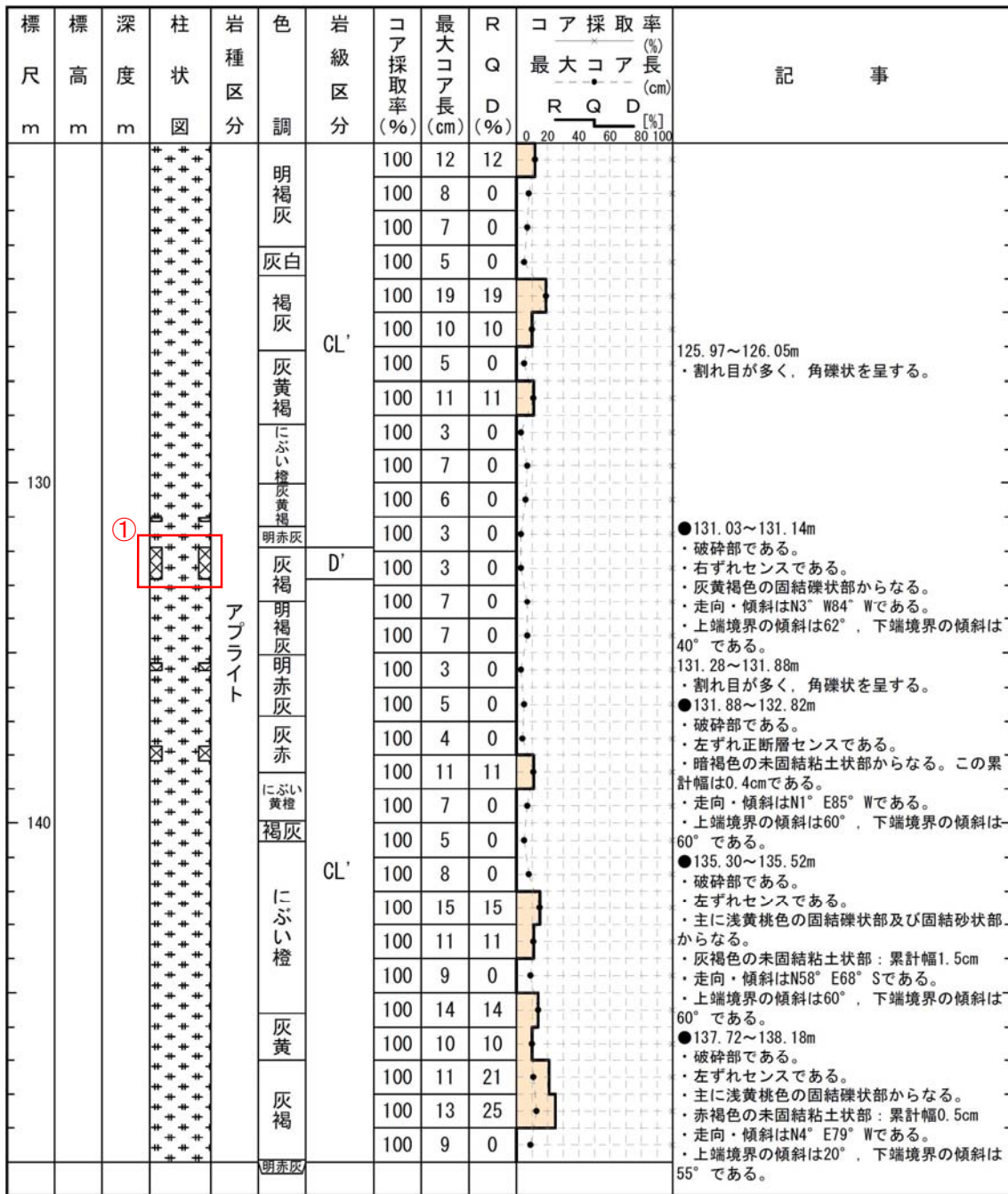
3-163(分類d)①
記事欄の記載変更に伴う変更。(破碎部模様の変更)



6-7-4-1095

第7.4.4.187図(4) D-5 破碎帯 ボーリング調査結果 (1号炉原子炉建屋北方) コア柱状図(H24-No. B8-21)

柱状図(120.00m~150.00m)



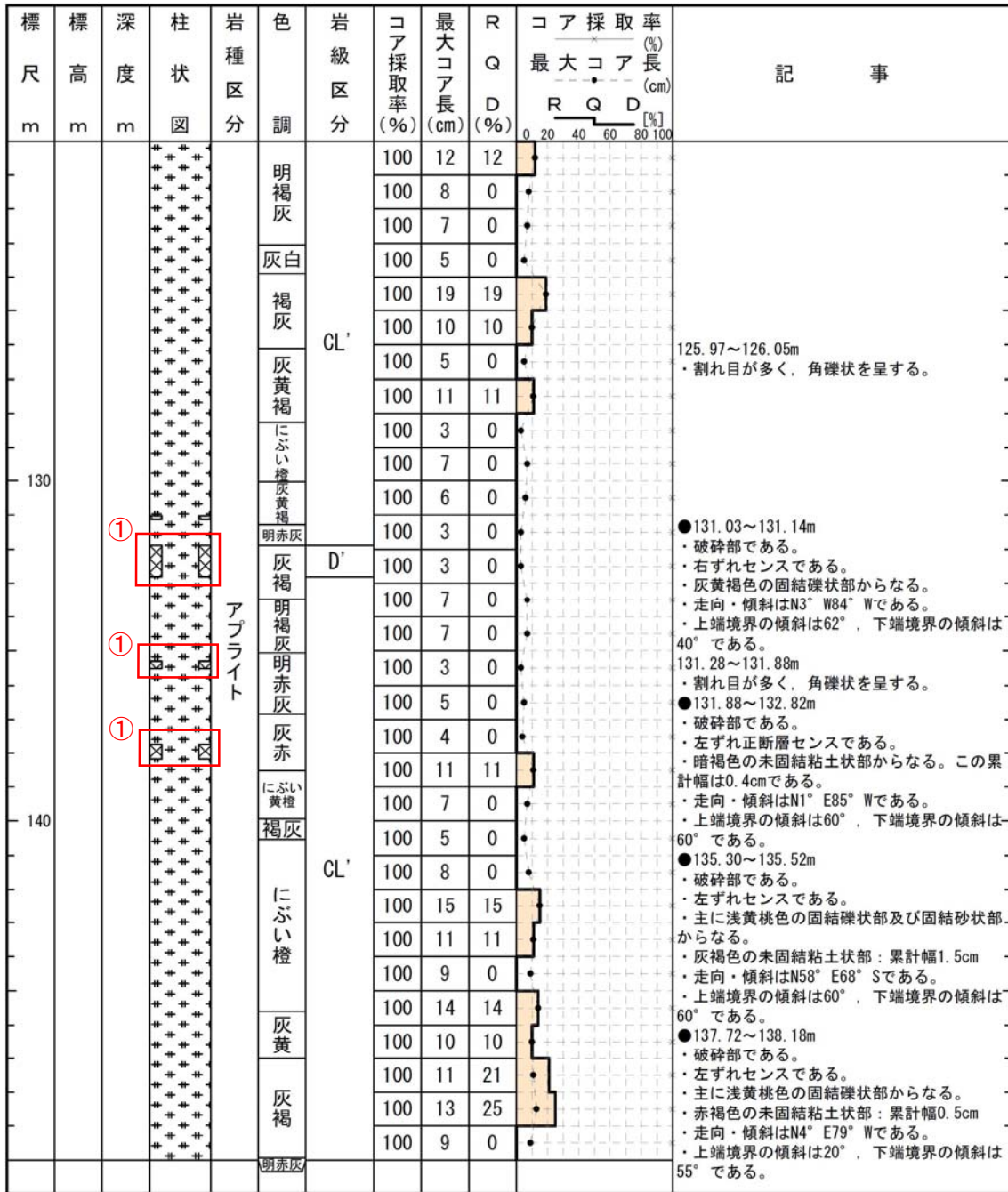
3-164(分類d)①
記事欄の記載変更に伴う変更。(破砕部模様の変更)

標尺 m	標高 m	深度 m	柱状 図	岩種 区分	色調	岩級 区分	コア 採取率 (%)	最大 コア長 (cm)	R Q D (%)	コア採取率 (%) 最大コア長 (cm)	R Q D [%]	記事					
													0 20 40 60 80 100				
140			+	ア フ ラ イ ト	灰褐	D'	100	3	0			<ul style="list-style-type: none"> ●135.30~135.52m ・破砕部である。 ・灰褐~灰白色の粘土状~淡黄橙~灰白~淡黄色の粘土混り砂状を呈する。 ・灰褐~灰白色粘土：累計厚15mm ・走向・傾斜はN58° E68° Sである。 ・上盤境界の傾斜は60°、下盤境界の傾斜は60°である。 ●137.72~138.18m ・破砕部である。 ・赤褐色の凝滞り粘土状~灰白~淡黄色の粘土混り砂状~粘土混り角礫状を呈する。 ・赤褐色凝滞り粘土：累計厚38mm ・走向・傾斜はN22° E78° Eである。 ・上盤境界の傾斜は20°、下盤境界の傾斜は55°である。 					
					明褐灰												
					明赤灰												
					灰赤												
					にぶい黄橙												
					褐灰												
					にぶい橙												
					灰黄												
					灰褐												
					明赤灰												
					褐灰												
					にぶい橙												
					灰褐												
					灰黄												
					にぶい橙												
					明褐灰												
					灰黄												
					150			+	ア フ ラ イ ト	明赤灰	CL'		100	7	0		
										褐灰							
										にぶい橙							
灰褐																	
160	-105.14	160.40	+	ア フ ラ イ ト	灰褐	CL'	100	11	11								
					明赤灰												
					褐灰												
					にぶい橙												
					灰黄												
					灰褐												
					明赤灰												
					褐灰												
					にぶい橙												
					灰黄												
					明褐灰												
					灰黄												
160			+	花 崗 斑 岩	明褐灰		100	8	0		160.40~240.00m ・花崗斑岩である。						
					灰黄												
					明緑灰												
					緑灰												

6-7-4-1096

第7.4.4.187図 (5) D-5破砕帯 ボーリング調査結果 (1号炉原子炉建屋北方) コア柱状図(H24-No. B8-21)

柱状図(120.00m~150.00m)



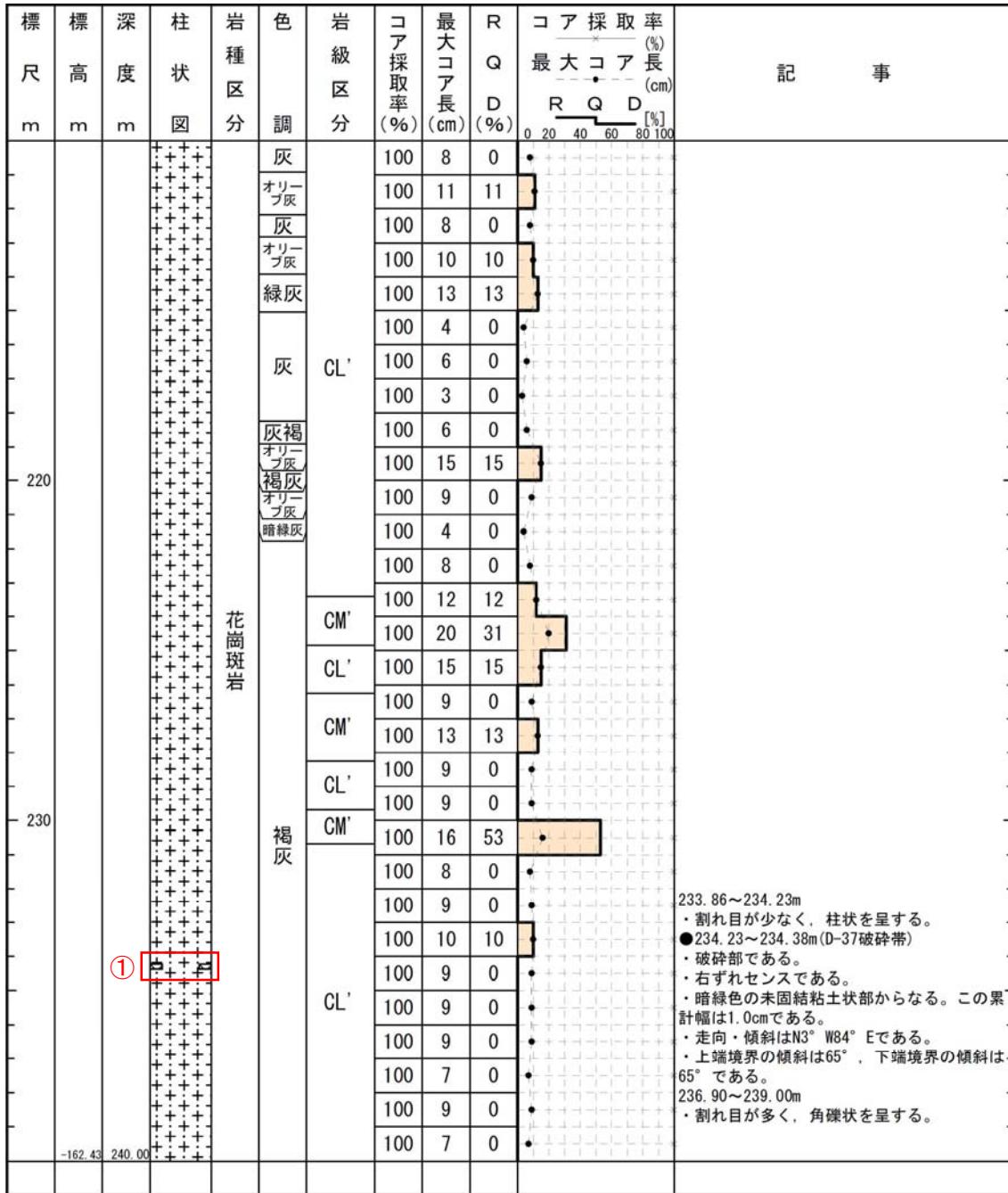
3-164~3-166(分類d)①
記事欄の記載変更に伴う変更。(破砕部模様の変更)

標尺 m	標高 m	深度 m	柱状 図	岩種 区分	色 調	岩級 区分	コア 採取 率 (%)	最大 コア 長 (cm)	R Q D (%)	コア採取率 (%) 最大コア長 (cm) R Q D [%]	記 事
		162.43 ~ 240.00		花崗斑岩	褐灰	CL'	100	8	0		233.86~234.23m ・割れ目が少なく、柱状を呈する。 ●234.23~234.38m ・破碎部である。 ・緑灰色の粘土状~灰白~緑灰色の角礫状を呈する。 ・緑灰色粘土：累計厚4mm ・走向・傾斜はN3° W84° Eである。 ・上盤境界の傾斜は65°、下盤境界の傾斜は65°である。 236.90~239.00m ・割れ目が多く、角礫状を呈する。
							100	9	0		
							100	10	10		
							100	9	0		
							100	9	0		
							100	9	0		
							100	7	0		
							100	9	0		
							100	7	0		

6-7-4-1099

第7.4.4.187図 (8) D-5 破碎帯 ボーリング調査結果 (1号炉原子炉建屋北方) コア柱状図(H24-No. B8-21)

柱状図(210.00m～240.00m)



3-167(分類d)①
記事欄の記載変更に伴う変更。(破碎部模様の変更)

H27-D5-1

孔口標高	T.P. 41.23m	掘削長	48.00m
------	-------------	-----	--------

標尺 m	標高 m	深度 m	柱状 図	岩種 区分	色調	岩級 区分	コア 採取 率 (%)	最大 コア 長 (cm)	R Q D (%)	コア採取率 (%)			記 事
										R	Q	D	
	40.21	1.02		盛土	黄褐色		100						0.00~1.02m ・盛土である。
	39.17	1.11		礫混じり砂	明黄褐色		100						1.02~1.11m ・礫混じり砂である。
	38.07	1.11		シルト混じり砂	明黄褐色		100						1.11~1.30m ・シルト混じり砂である。
	38.85	2.40		砂質シルト	黄褐色	CM'	100	6	0				1.30~1.41m ・砂質シルトである。
	37.6	2.60		礫混じり砂	黄褐色	CM'	100	4	0				1.41~2.40m ・礫混じり砂である。
	36.9	2.60		シルト混じり砂	黄褐色	CL'	100	3	0				2.40~2.60m ・シルト混じり砂である。
				灰白		CM'	100	3	0				2.60~2.84m ・砂礫である。
				灰白		CM'	100	20	20				2.84~4.80m ・花崗斑岩である。
				灰白		CM'	100	5	0				4.80~5.50m ・風化が進み、軟質化している。
				灰白		CM'	100	11	11				5.05~5.50m ・割れ目が多く、岩片状を呈する。
				灰白		CM'	100	14	14				12.35~12.70m ・風化が進み、軟質化している。
				淡黄		CL'	100	6	0				14.30~14.65m ・風化が進み軟質化している。
				灰白		CM'	100	19	19				17.47~17.91m ・割れ目に沿って、灰白色シルトを挟む。
				淡黄		CL'	100	12	12				17.70~18.00m ・風化が進み、軟質化している。
				灰白		CM'	100	6	0				19.15~19.55m ・風化が進み軟質化している。
				灰白		CH'	100	14	34				20.80~22.35m ・硬質で割れ目が少なく、柱状~長柱状を呈する。
				灰白		CM'	100	59	92				●22.91~23.23m ・破砕部である。
				淡黄		CL'	100	7	0				・正断層センスである。
				灰白		CL'	100	10	46				・灰オリーブ色の粘土状~淡黄色の粘土混じり礫状を呈する。
				にぶい砂		CM'	100	6	0				・灰オリーブ色粘土：累計厚10mm
				明褐色		CM'	100	55	55				・走向・傾斜はN35° E74° Wである。
				灰白		CH'	100	17	27				・上盤境界の傾斜は28°、下盤境界の傾斜は35°である。
				灰白		CH'	100	21	37				24.65~25.00m ・縦方向の割れ目が連続する。
				灰白		CH'	100	17	30				●25.17~25.44m ・破砕部である。
				灰白		CH'	100	13	25				・正断層センスである。
				灰白		CM'	100	17	31				・灰白~淡黄色の礫混じり粘土状~にぶい橙色の粘土混じり礫状を呈する。
				灰白		CH'	100	15	50				・灰白~淡黄色礫混じり粘土：累計厚10mm
				灰白		CH'	100	17	31				・走向・傾斜はN° 31E81° Wである。
				灰白		CM'	100	23	59				・上盤境界の傾斜は48°、下盤境界の傾斜は36°である。
				灰白		CH'	100	14	27				●25.65~25.77m(D-5破砕帯) ・破砕部である。
				灰白		CM'	100	14	27				・右ずれ正断層センスである。
				灰白		CL'	100						・灰黄褐色の粘土状~明褐色の礫質粘土~粘土混じり礫を呈する。
				灰白		CL'	100						・灰黄褐色粘土：累計厚12mm
				灰白		CL'	100						・走向・傾斜はN21° E87° Wである。
				灰白		CL'	100						・上盤境界の傾斜は30°~60°で湾曲している。
				灰白		CL'	100						25.77~26.12m ・粘土化しており、軟質である。
				灰白		CL'	100						34.96~35.41m ・割れ目が多く、岩片状を呈する。

6--7-4-1100

第7.4.4.188図(1) D-5破砕帯 ボーリング調査結果(1号炉原子炉建屋南方) コア柱状図(H27-D5-1)

H27-D5-1

柱状図(0.00m~30.00m)

H27-D5-1

孔口標高	T.P.	41.23m	掘削長	48.00m
------	------	--------	-----	--------

標尺 m	標高 m	深度 m	柱状 図	岩種 区分	色 調	岩級 区分	コア 採取 率 (%)	最大 コア 長 (cm)	R Q D (%)	コア採取率 (%)			記 事
										最大 コア 長 (cm)	R	Q	
	40.21	1.02		盛土	黒褐色 黄褐		100						0.00~1.02m ・盛土である。
	39.19	1.11		礫混じり砂	明黄褐		100						1.02~1.11m ・礫混じり砂である。
	38.89	1.11		シルト混じり砂	黄褐		100						1.11~1.30m ・シルト混じり砂である。
	38.89	2.40		砂質シルト	にぶい 黄褐	CM'	100	6	0				1.30~1.41m ・砂質シルトである。
	38.89	2.40		礫混じり砂	②	CM'	100	4	0				1.41~2.40m ・礫混じり砂である。
	38.89	2.40		シルト混じり砂	②	CL'	100	3	0				2.40~2.60m ・シルト混じり砂である。
	38.89	2.40		砂礫	②	CL'	100	3	0				2.60~2.84m ・砂礫である。
					灰白	CM'	100	20	20				2.84~48.00m ・花崗斑岩である。
					淡黄	CL'	100	6	0				4.80~5.50m ・風化が進み、軟質化している。
					灰白	CM'	100	19	19				5.05~5.50m ・割れ目が多く、岩片状を呈する。
				淡黄	CL'	100	12	12				12.35~12.70m ・風化が進み、軟質化している。	
				灰白	CM'	100	6	0				14.30~14.65m ・風化が進み、軟質化している。	
				灰白	CL'	100	7	0				17.47~17.91m ・割れ目に沿って、灰白色シルトを挟む。	
				灰白	CM'	100	3	0				17.70~18.00m ・風化が進み、軟質化している。	
				淡黄	CM'	100	6	0				19.15~19.55m ・風化が進み、軟質化している。	
				灰白	CH'	100	14	34				20.80~22.35m ・硬質で割れ目が少なく、柱状~長柱状を呈する。	
				灰白	CM'	100	12	12				●22.91~23.23m(D-4破砕帯) ・破砕部である。	
				淡黄	D'	100	7	0				・正断層センスである。	
				灰白	CL'	100	10	46				・主に淡黄色の固結礫状部からなる。	
				にぶい 橙	D'	100	6	0				・灰オリーブ色の未固結粘土状部：累計幅0.3cm	
				灰白 明褐色	CM'	100	55	55				・走向・傾斜はN35° E74° Wである。	
				灰白	CH'	100	17	27				・上端境界の傾斜は28°、下端境界の傾斜は35°である。	
				灰白	CM'	100	21	37				24.65~25.00m ・縦方向の割れ目が連続する。	
				灰白	CH'	100	17	30				●25.17~25.44m(D-45破砕帯) ・破砕部である。	
				灰白	CM'							・正断層センスである。	
				灰白	CH'							・主ににぶい橙色の固結粘土状部からなる。	
				灰白	CM'							・淡黄色の未固結粘土状部：累計幅1.5cm	
				灰白	CH'							・走向・傾斜はN31° E81° Wである。	
				灰白	CM'							・灰黄褐色の未固結粘土状部：累計幅0.1cm	
				灰白	CH'							・走向・傾斜はN21° E87° Wである。	
				灰白	CM'							・上端境界の傾斜は30°~60°で湾曲している。	
				灰白	CH'							25.77~26.12m ・粘土化しており、軟質である。	

3-168, 3-169(分類d)①
記事欄の記載変更に伴う変更。(破砕部模様の変更)
3-170~3-173(分類c)②
表現を統一したため。
3-174, 3-175(分類c)③
岩盤上限の2.84mと3.00mの間が16cmと狭いため、
2.84~4.00mで最大コア長を求めたもの。

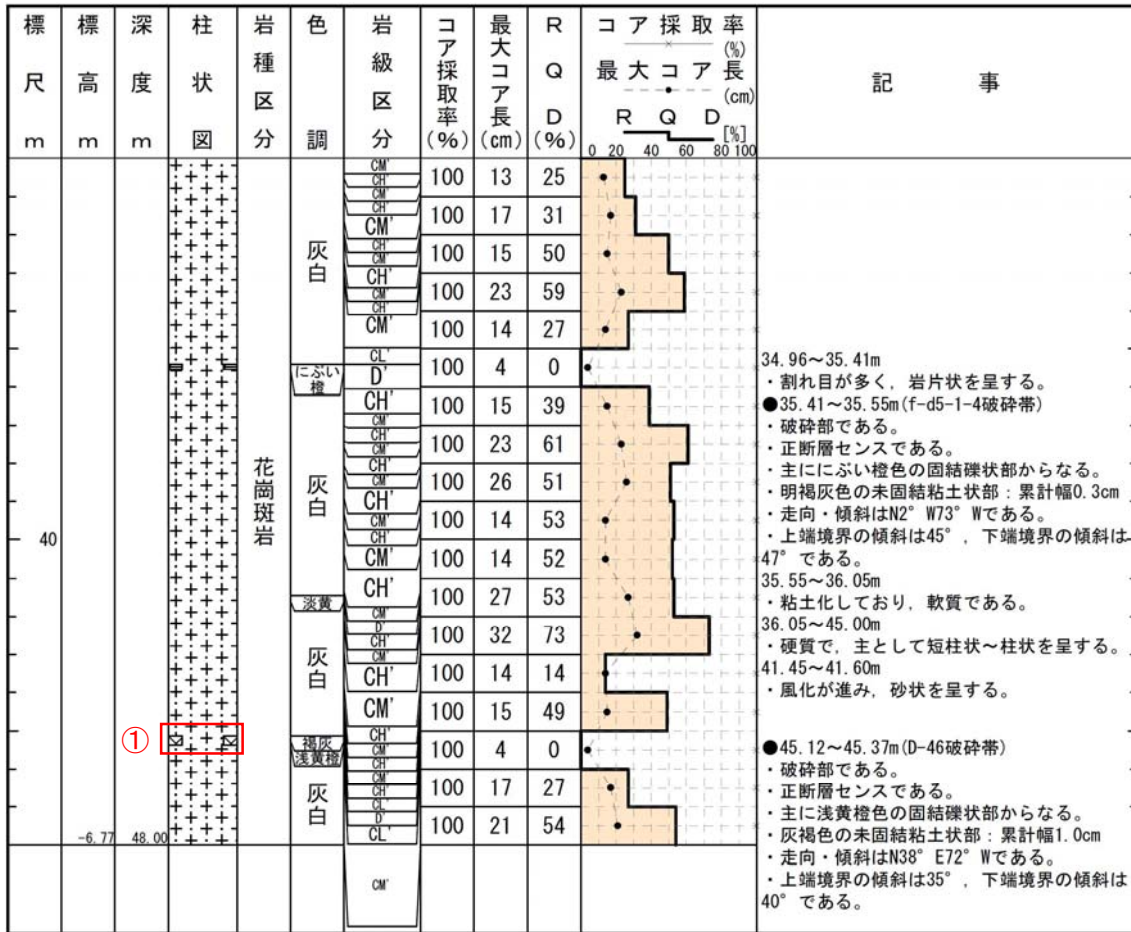
標尺 m	標高 m	深度 m	柱状 図	岩種 区分	色 調	岩 級 区 分	コア 採取 率 (%)	最大 コア 長 (cm)	R Q D (%)	コア採取率 (%) 最大コア長 (cm) R Q D [%]	記 事
		40		花崗斑岩	灰白	CL	100	4	0		<ul style="list-style-type: none"> ●35.41～35.55m ・破碎部である。 ・正断層センスである。 ・明褐色の礫混じり粘土状～にぶい橙色の粘土混じり礫状を呈する。 ・明褐色粘土：累計厚10mm。 ・走向・傾斜はN2° W73° Wである。 ・上盤境界の傾斜は45°、下盤境界の傾斜は47°である。 35.55～36.05m ・粘土化しており、軟質である。 36.05～45.00m ・硬質で、主として短柱～柱状を呈する。 41.45～41.60m ・風化が進み、砂状を呈する。 ●45.12～45.37m ・破碎部である。 ・正断層センスである。 ・灰褐色の粘土状～褐灰～灰オリーブ色の礫質粘土～浅黄橙～褐色の粘土混じり礫状を呈する。 ・灰褐色粘土：累計厚10mm ・走向・傾斜はN38° E72° Wである。 ・上盤境界の傾斜は35°、下盤境界の傾斜は40°である。
						CH'	100	15	39		
						CH'	100	23	61		
						CH'	100	26	51		
						CH'	100	14	53		
						CH'	100	14	52		
						CH'	100	27	53		
						CH'	100	32	73		
						CH'	100	14	14		
						CH'	100	15	49		
						CH'	100	4	0		
						CH'	100	17	27		
						CL	100	21	54		
						CH'					

6-7-4-1101

第7.4.4.188図 (2) D-5 破碎帯 ボーリング調査結果 (1号炉原子炉建屋南方) コア柱状図 (H27-D5-1)

H27-D5-1

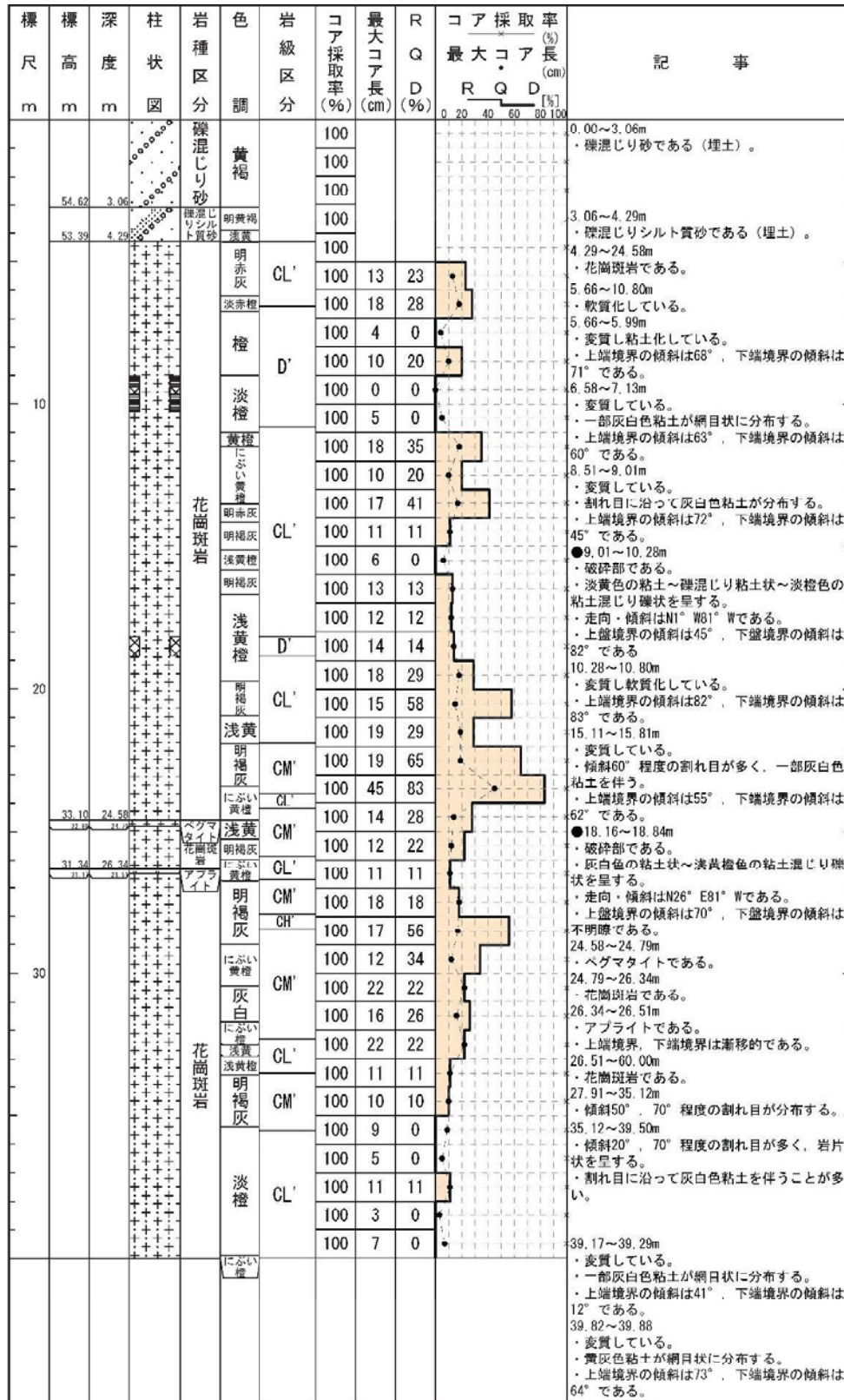
柱状図(30.00m~48.00m)



3-176(分類d)①
記事欄の記載変更に伴う変更。(破碎部模様の変更)

H20-①-10

孔口標高	T.P. 57.68m	掘削長	60.00m
------	-------------	-----	--------



6-7-4-1102

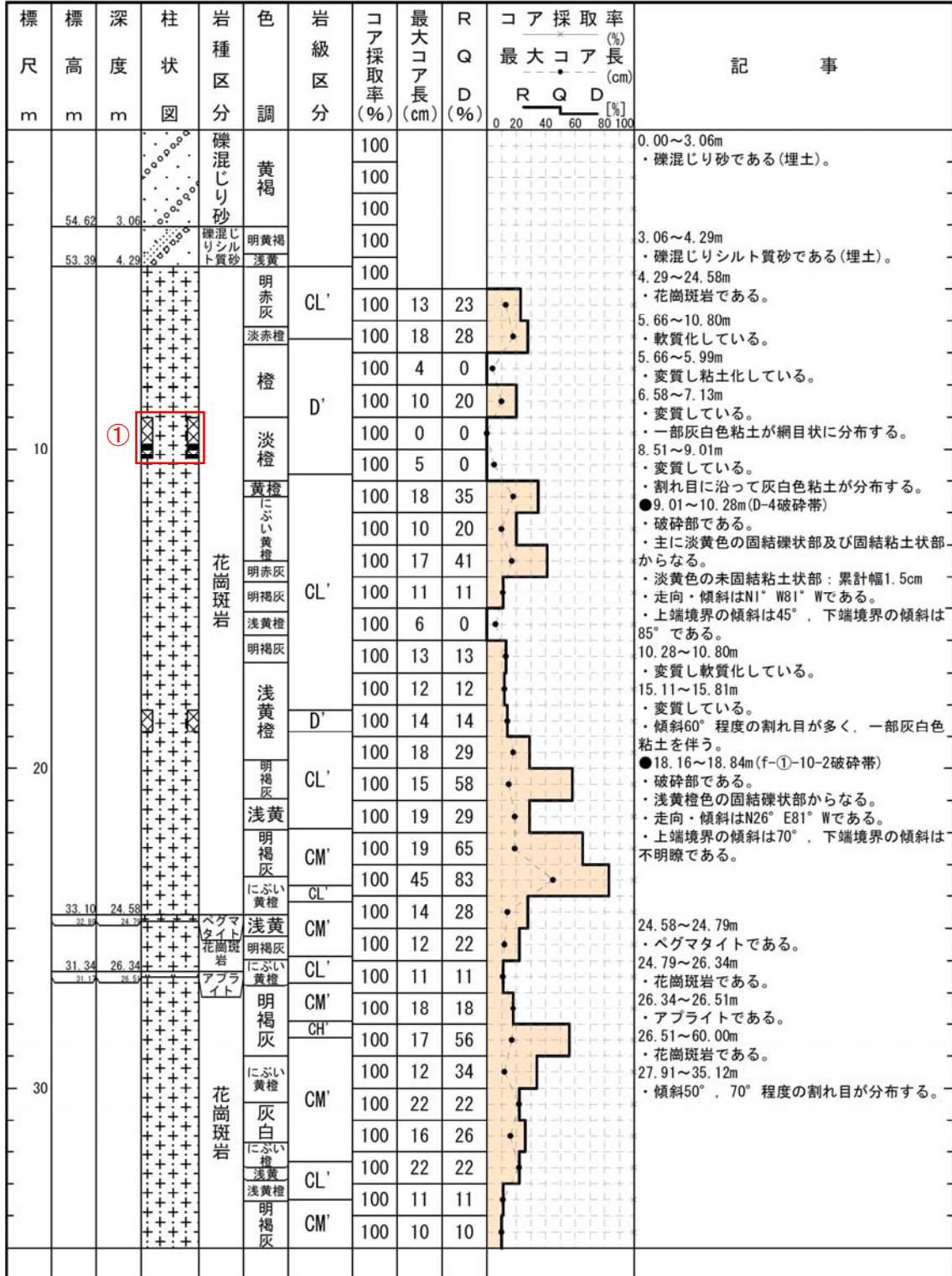
第7.4.4.189図(1) D-5 破砕帯 ボーリング調査結果(1号炉原子炉建屋南方) コア柱状図(H20-No. ①-10孔)

H20-①-10

柱状図(0.00m~35.00m)

H20-①-10

孔 口 標 高	T. P.	57.68m	掘 削 長	60.00m
---------	-------	--------	-------	--------



3-177(分類d)①
記事欄の記載変更に伴う変更。(破碎部模様の変更)

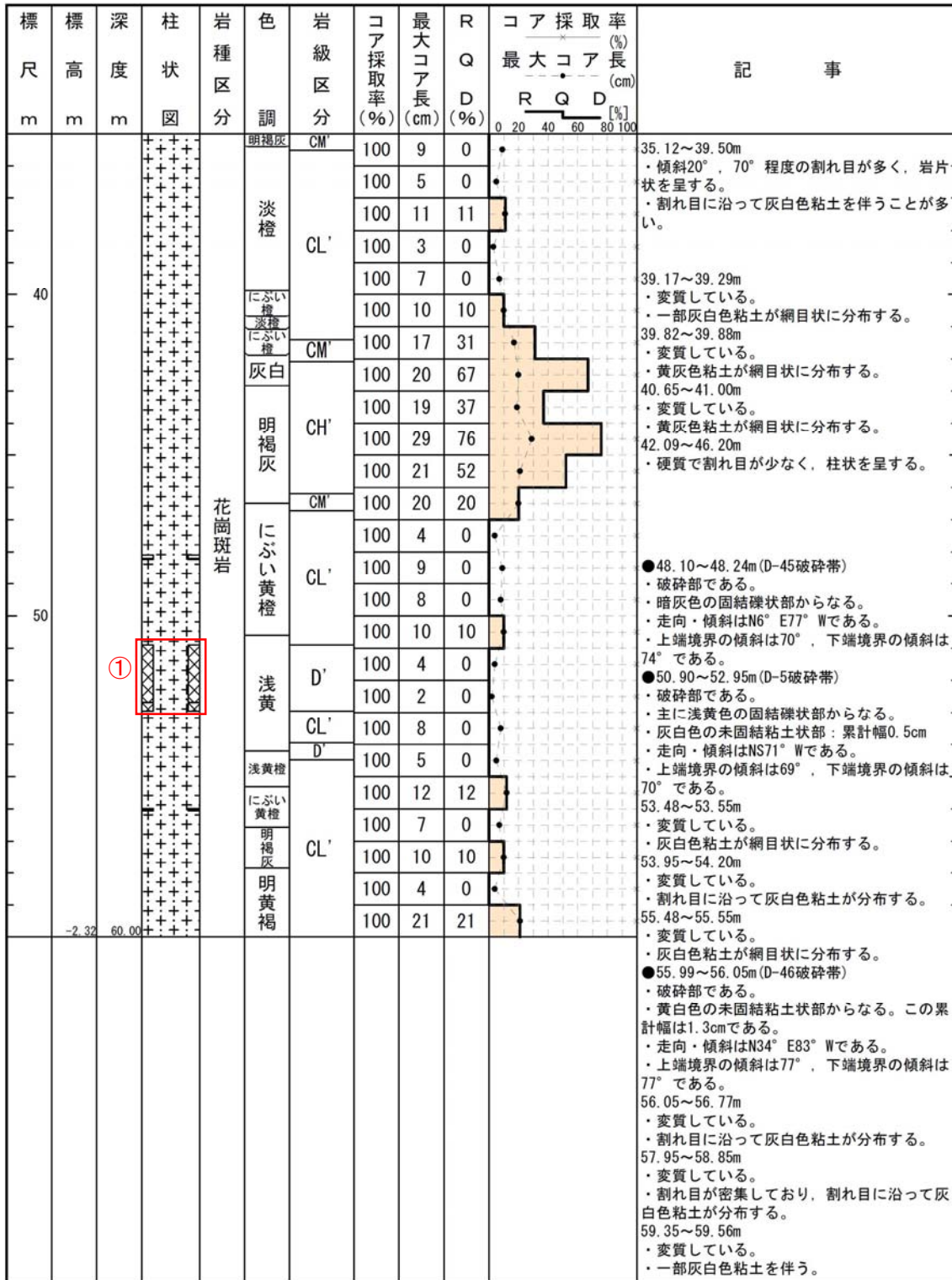
標尺 m	標高 m	深度 m	柱状 図	岩種 区分	色 調	岩級 区分	コア 採取 率 (%)	最大 コア 長 (cm)	R Q D (%)	コア採取率 (%) 最大コア長 (cm)	記事
				花崗斑岩	にぶい 橙	CL'	100	10	10		40.65~41.00m ・変質している。 ・黄灰色粘土が網目状に分布する。
			にぶい 橙		CM'	100	17	31	<ul style="list-style-type: none"> 42.09~46.20m ・硬質で割れ目が少なく、柱状を呈する。 		
			明褐 灰		CH'	100	19	37			
			明褐 灰		CH'	100	29	76			
			明褐 灰		CH'	100	21	52			
			明褐 灰		CM'	100	20	20			
			にぶい 黄橙		CL'	100	4	0			
			にぶい 黄橙		CL'	100	9	0			
			にぶい 黄橙		CL'	100	8	0			
			にぶい 黄橙		CL'	100	10	10			
			浅黄		D'	100	4	0			
			浅黄		D'	100	2	0			
			浅黄 橙		CL'	100	8	0			
			浅黄 橙		D'	100	5	0			
			にぶい 黄橙		CL'	100	12	12			
			にぶい 黄橙		CL'	100	7	0			
			明褐 灰		CL'	100	10	10			
			明褐 灰		CL'	100	4	0			
			明黄 褐	CL'	100	21	21				
										<ul style="list-style-type: none"> ●48.10~48.26m ・破砕部である。 ・暗灰色の礫混じりシルト状を呈する。 ・走向・傾斜はN6° E77° Wである。 ・上盤境界の傾斜は70°、下盤境界の傾斜は70°である。 ●50.90~52.95m(D-5破砕帯) ・破砕部である。 ・黄灰~灰白色の粘土~礫混じり粘土状~浅黄色の粘土混じり礫状を呈する。 ・走向・傾斜はNS71° Wである。 ・上盤境界の傾斜は68°、下盤境界の傾斜は70°である。 53.48~53.55m ・変質している。 ・灰白色粘土が網目状に分布する。 ・上盤境界の傾斜は36°、下盤境界の傾斜は56°である。 53.95~54.20m ・変質している。 ・割れ目に沿って灰白色粘土が分布する。 ・上盤境界の傾斜は58°、下盤境界の傾斜は70°である。 55.48~55.55m ・変質している。 ・灰白色粘土が網目状に分布する。 ・上盤境界の傾斜は64°、下盤境界の傾斜は45°である。 ●55.99~56.05m ・破砕部である。 ・黄白色の粘土状を呈する。 ・黄白色粘土：累計厚13mm ・走向・傾斜はN34° E83° Wである。 ・上盤境界の傾斜は77°、下盤境界の傾斜は77°である。 56.05~56.77m ・変質している。 ・割れ目に沿って灰白色粘土が分布する。 ・上盤境界の傾斜は77°、下盤境界の傾斜は53°である。 b/f. 95~98.85m ・変質している。 ・割れ目が密集しており、割れ目に沿って灰白色粘土が分布する。 ・上盤境界の傾斜は58°、下盤境界の傾斜は76°である。 59.35~59.56m ・変質している。 ・一部灰白色粘土を伴う。 ・上盤境界の傾斜は85°、下盤境界の傾斜は不明瞭である。 	

6-7-4-1103

第7.4.4.189図(2) D-5破砕帯 ボーリング調査結果(1号炉原子炉建屋南方) コア柱状図(H20-No.①-10孔)

H20-①-10

柱状図(35.00m~60.00m)



3-178(分類d)①
記事欄の記載変更に伴う変更。(破碎部模様の変更)

柱状図(140.00m~160.00m)

標尺 m	標高 m	深度 m	柱状 図	岩種 区分	色調	岩級 区分	コア 採取 率 (%)	最大 コア 長 (cm)	R Q D (%)	コア採取率 (%)			記 事	
										最大 コア 長 (cm)	R	Q		D
150				花崗斑岩	褐灰	CL'	100	5	0	●	0	0	0	141.96~142.23m ・割れ目が細かく交差し、細片化している。
							100	5	0					
							100	4	0					
							100	7	0					
							100	6	0					
					明褐灰	D'	100	3	0	●	0	0	145.65~148.26m ・砂礫状~礫質砂状を呈する。 ・一部灰白~暗緑灰色の粘土脈を挟む。	
							100	2	0					
							100	4	0					
					明褐灰	CL'	100	6	0	●	0	0	149.19~149.67m ・砂礫状を呈する。 ・灰白色粘土が点在する。	
							100	5	0					
					明褐灰	D'	100	4	0	●	0	0	●152.10~152.15m(f-b-2-21破碎帯) ・破碎部である。 ・右ずれ正断層センスである。 ・主に明褐灰色の固結礫状部からなる。 ・暗緑灰色の未固結粘土状部：累計幅0.1cm ・走向・傾斜はN28° E84° Eである。 ・上端境界の傾斜は45°、下端境界の傾斜は55°である。	
							100	5	0					
					明褐灰	CL'	100	7	0	●	0	0	●154.53~154.71m(f-b-2-22破碎帯) ・破碎部である。 ・正断層センスである。 ・主に灰褐色の固結礫状部からなる。 ・灰赤色の未固結粘土状部：累計幅0.5cm ・走向・傾斜はN42° E75° Eである。 ・上端境界の傾斜は63°、下端境界の傾斜は65°~80°である。	
							100	4	0					
					明褐灰	D'	100	4	0	●	0	0	157.89~160.00m ・割れ目沿いの緑泥石化が著しい。	
100	5	0												
明褐灰	CL'	100	2	0	●	0	0							
		100	4	0										
明褐灰	D'	100	3	0	●	0	0							
		100	5	0										
明褐灰	CL'	100	2	0	●	0	0							
		100	4	0										
明褐灰	D'	100	3	0	●	0	0							
		100	5	0										
明褐灰	CL'	100	2	0	●	0	0							
		100	4	0										
明褐灰	D'	100	3	0	●	0	0							
		100	5	0										
明褐灰	CL'	100	2	0	●	0	0							
		100	4	0										
明褐灰	D'	100	3	0	●	0	0							
		100	5	0										
明褐灰	CL'	100	2	0	●	0	0							
		100	4	0										
明褐灰	D'	100	3	0	●	0	0							
		100	5	0										
明褐灰	CL'	100	2	0	●	0	0							
		100	4	0										
明褐灰	D'	100	3	0	●	0	0							
		100	5	0										
明褐灰	CL'	100	2	0	●	0	0							
		100	4	0										
明褐灰	D'	100	3	0	●	0	0							
		100	5	0										
明褐灰	CL'	100	2	0	●	0	0							
		100	4	0										
明褐灰	D'	100	3	0	●	0	0							
		100	5	0										
明褐灰	CL'	100	2	0	●	0	0							
		100	4	0										
明褐灰	D'	100	3	0	●	0	0							
		100	5	0										
明褐灰	CL'	100	2	0	●	0	0							
		100	4	0										
明褐灰	D'	100	3	0	●	0	0							
		100	5	0										
明褐灰	CL'	100	2	0	●	0	0							
		100	4	0										
明褐灰	D'	100	3	0	●	0	0							
		100	5	0										
明褐灰	CL'	100	2	0	●	0	0							
		100	4	0										
明褐灰	D'	100	3	0	●	0	0							
		100	5	0										
明褐灰	CL'	100	2	0	●	0	0							
		100	4	0										
明褐灰	D'	100	3	0	●	0	0							
		100	5	0										
明褐灰	CL'	100	2	0	●	0	0							
		100	4	0										
明褐灰	D'	100	3	0	●	0	0							
		100	5	0										
明褐灰	CL'	100	2	0	●	0	0							
		100	4	0										
明褐灰	D'	100	3	0	●	0	0							
		100	5	0										
明褐灰	CL'	100	2	0	●	0	0							
		100	4	0										
明褐灰	D'	100	3	0	●	0	0							
		100	5	0										
明褐灰	CL'	100	2	0	●	0	0							
		100	4	0										
明褐灰	D'	100	3	0	●	0	0							
		100	5	0										
明褐灰	CL'	100	2	0	●	0	0							
		100	4	0										
明褐灰	D'	100	3	0	●	0	0							
		100	5	0										
明褐灰	CL'	100	2	0	●	0	0							
		100	4	0										
明褐灰	D'	100	3	0	●	0	0							
		100	5	0										
明褐灰	CL'	100	2	0	●	0	0							
		100	4	0										
明褐灰	D'	100	3	0	●	0	0							
		100	5	0										
明褐灰	CL'	100	2	0	●	0	0							
		100	4	0										
明褐灰	D'	100	3	0	●	0	0							
		100	5	0										
明褐灰	CL'	100	2	0	●	0	0							
		100	4	0										
明褐灰	D'	100	3	0	●	0	0							
		100	5	0										
明褐灰	CL'	100	2	0	●	0	0							
		100	4	0										
明褐灰	D'	100	3	0	●	0	0							
		100	5	0										
明褐灰	CL'	100	2	0	●	0	0							
		100	4	0										
明褐灰	D'	100	3	0	●	0	0							
		100	5	0										
明褐灰	CL'	100	2	0	●	0	0							
		100	4	0										
明褐灰	D'	100	3	0	●	0	0							
		100	5	0										
明褐灰	CL'	100	2	0	●	0	0							
		100	4	0										
明褐灰	D'	100	3	0	●	0	0							
		100	5	0										
明褐灰	CL'	100	2	0	●	0	0							
		100	4	0										
明褐灰	D'	100	3	0	●	0	0							
		100	5	0										
明褐灰	CL'	100	2	0	●	0	0							
		100	4	0										
明褐灰	D'	100	3	0	●	0	0							
		100	5	0										
明褐灰	CL'	100	2	0	●	0	0							
		100	4	0										
明褐灰	D'	100	3	0	●	0	0							
		100	5	0										
明褐灰	CL'	100	2	0	●	0	0							
		100	4	0										
明褐灰	D'	100	3	0	●	0	0							
		100	5	0										
明褐灰	CL'	100	2	0	●	0	0							
		100	4	0										
明褐灰	D'	100	3	0	●	0	0							
		100	5	0										
明褐灰	CL'	100	2	0	●	0	0							
		100	4	0										
明褐灰	D'	100	3	0	●	0	0							
		100	5	0										
明褐灰	CL'	100	2	0	●	0	0							
		100	4	0										
明褐灰	D'	100	3	0	●	0	0							
		100	5	0										
明褐灰	CL'	100	2	0	●	0	0							
		100	4	0										
明褐灰	D'	100	3	0	●	0	0							
		100	5	0										
明褐灰	CL'	100	2	0	●	0	0							
		100	4	0										
明褐灰	D'	100	3	0	●	0	0							
		100	5	0										
明褐灰	CL'	100	2	0	●	0	0							
		100	4	0										
明褐灰	D'	100	3	0	●	0	0							
		100	5	0										
明褐灰	CL'	100	2	0	●	0	0							
		100	4	0										
明褐灰	D'	100	3	0	●	0	0							
		100	5	0										
明褐灰	CL'	100	2	0	●	0	0							
		100	4	0										
明褐灰	D'	100	3	0	●	0	0							
		100	5	0										
明褐灰	CL'	100	2	0	●	0	0							
		100	4	0										
明褐灰	D'	100	3	0	●	0	0							
		100	5	0										
明褐灰	CL'	100	2	0	●	0	0							
		100	4	0										
明褐灰	D'	100	3	0	●	0	0							
		100	5	0										
明褐灰	CL'	100	2	0	●	0	0							
		100	4	0										
明褐灰	D'	100	3	0	●	0	0							
		100	5	0										
明褐灰	CL'	100	2	0	●	0	0							
		100	4	0										
明褐灰	D'	100	3	0	●	0	0							
		100	5	0										
明褐灰	CL'	100	2	0	●	0	0							
		100	4	0										
明褐灰	D'	100	3	0	●	0	0							
		100	5	0										
明褐灰	CL'	100	2	0	●	0	0							
		100	4	0										
明褐灰	D'	100	3	0	●	0	0							
		100	5	0										
明褐灰	CL'	100	2	0	●	0	0							
		100	4	0										
明褐灰	D'	100	3	0	●	0	0							
		100	5	0										
明褐灰	CL'	100	2	0	●	0	0							
		100	4	0										
明褐灰	D'	100	3	0	●	0	0							
		100	5	0										
明褐灰	CL'	100	2	0	●	0	0							
		100	4	0										
明褐灰	D'	100	3	0	●	0	0							
		100	5	0										
明褐灰	CL'	100	2	0	●	0	0							
		100	4	0										

H27-B-2

柱状図(140.00m~160.00m)

H27-B-2 (5 / 5)

標尺 m	標高 m	深度 m	柱状 図	岩種 区分	色 調	岩級 区分	コア 採取率 (%)	最大 コア 長 (cm)	R Q D (%)	コア採取率 (%) 最大コア 長 (cm)	R Q D [%]	記 事	
													0 20 40 60 80 100
150				花崗斑岩		褐灰	CL'	100	5	0			141.96~142.23m ・割れ目が細かく交差し、細片化している。
								100	5	0			
								100	4	0			
								100	7	0			
								100	6	0			
						明褐灰	D'	100	3	0			145.65~148.26m ・砂礫状~礫質砂状を呈する。 ・一部灰白~暗緑灰色の粘土脈を挟む。
								100	2	0			
								100	4	0			
						明褐灰	CL'	100	6	0			149.19~149.67m ・砂礫状を呈する。 ・灰白色粘土が点在する。
								100	5	0			
						明褐灰	D'	100	4	0			●152.10~152.15m(f-b-2-21破碎帯) ・破碎部である。 ・右ずれ正断層センスである。 ・主に明褐灰色の固結礫状部からなる。 ・暗緑灰色の未固結粘土状部：累計幅0.1cm ・走向・傾斜はN28°E84°Eである。 ・上端境界の傾斜は45°、下端境界の傾斜は55°である。
								100	7	0			
						明褐灰	D'	100	4	0			●154.53~154.71m(f-b-2-22破碎帯) ・破碎部である。 ・正断層センスである。 ・主に灰褐色の固結礫状部からなる。 ・灰赤色の未固結粘土状部：累計幅0.5cm ・走向・傾斜はN42°E75°Eである。 ・上端境界の傾斜は63°、下端境界の傾斜は65°~80°である。
								100	5	0			
						灰褐	CL'	100	2	0			157.89~160.00m ・割れ目沿いの緑泥石化が著しい。
100	4	0											
緑灰	CL'	100	3	0									
		100	5	0									

4-1(分類b)①
誤記の修正。